

2025 年 6 月

# 学生認識／行動調査2024

## 結果報告

学生支援センター

### 目次

調査の概要 .....	2
回答率 .....	2
1. 入学動機 .....	3
2. 自己肯定感 .....	6
3. 他学生および教職員との関係 .....	9
4. 施設等満足度 .....	11
5. 施設等への要望 [自由記述] .....	16
6. 学修状況 .....	19
7. 授業満足度 .....	25
8. DP 達成度 .....	31
9. 生活・心身の悩み・経済状況など .....	39
10. 本学への意見等 [自由記述] .....	58

## 調査の概要

調査期間：2025年1月27日（月）～3月31日（月）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Formsを利用した（stアカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：40問（選択式37問・自由記述3問）

## 回答率

### <学科別回答者数・回答率>

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	696	161	418	530	252	375	934	681	240	852	197
回答者数	96	11	34	48	28	58	56	45	11	70	21
回答率	13.8%	6.8%	8.1%	9.1%	11.1%	15.5%	6.0%	6.6%	4.6%	8.2%	10.7%

学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	941	589	439	338	1551	627	321	405	828	11375
回答者数	81	52	30	29	107	55	25	30	103	990
回答者率	8.6%	8.8%	6.8%	8.6%	6.9%	8.8%	7.8%	7.4%	12.4%	8.7%

### <学年別回答者数・回答率>

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	3046	2940	2546	2843	11375
回答者数	458	275	134	123	990
回答率	15.0%	9.4%	5.3%	4.3%	8.7%

# 1. 入学動機

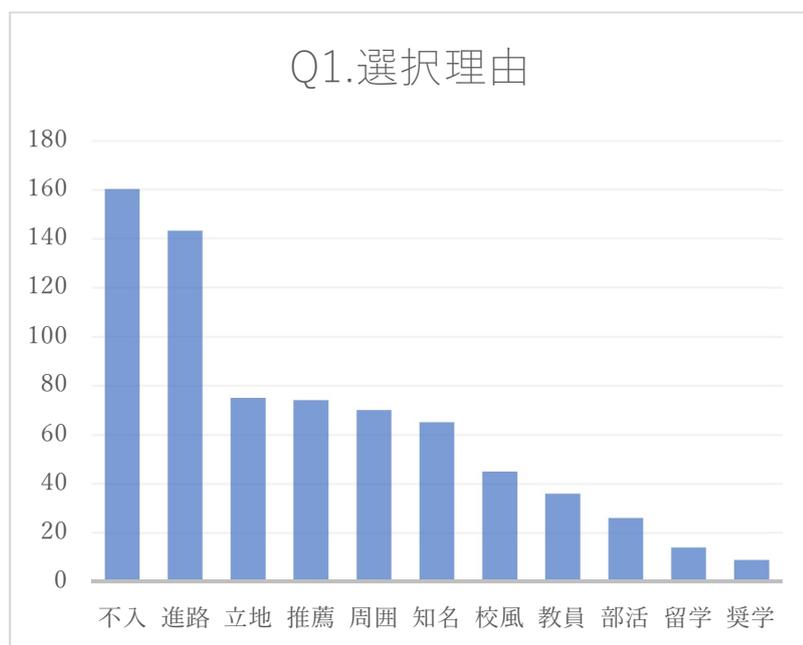
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

## 【入学動機】

**Q1 1年生(2024年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)**

- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

<全学>

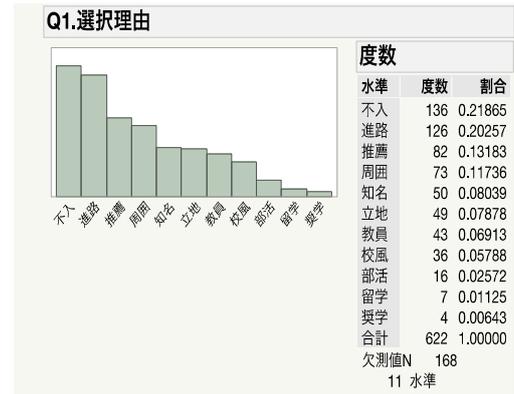


水準	度数	割合
不入	160	0.22315
進路	143	0.19944
立地	75	0.10460
推薦	74	0.10321
周囲	70	0.09763
知名	65	0.09066
校風	45	0.06276
教員	36	0.05021
部活	26	0.03626
留学	14	0.01953
奨学	9	0.01255
合計	717	1.00000

参考：2023 年度



参考：2022 年度



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。この設問に回答した1年生は435名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。36.8%が本学を選択した理由として、「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」をあげた。ついで多かったのは「進路」すなわち「将来の希望進路に必要な勉強ができる」32.9%である。昨年度は「不入」の割合が2年連続で減少し「進路」が最も選ばれたが、今年度は再び「不入」と「進路」の順位が入れ替わった。特筆すべきは過去2年の結果と比較して、「立地」を選んだ回答数・割合が共に大きく上昇していることであろう。

不入	進路	立地	推薦	周囲	知名	校風	教員	部活	留学	奨学
160	143	75	74	70	65	45	36	26	14	9
36.8%	32.9%	17.2%	17.0%	16.1%	14.9%	10.3%	8.3%	6.0%	3.2%	2.1%

参考：2023 年度

進路	不入	推薦	周囲	知名	校風	立地	教員	部活	留学	奨学
120	105	74	56	52	44	39	17	11	9	8
34.7%	30.3%	21.4%	16.2%	15.0%	12.7%	11.3%	4.9%	3.2%	2.6%	2.3%

参考: 2022 年度

不入	進路	推薦	周囲	知名	立地	教員	校風	部活	留学	奨学
136	126	82	73	50	49	43	36	16	7	4
35.7%	33.1%	21.5%	19.2%	13.1%	12.9%	11.3%	9.4%	4.2%	1.8%	1.0%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである（この設問に回答した1年生435名中、2つの理由を回答したのは282名）。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	31	18	11	0	17	8	5	5	2	0	97
教員	1	5	2	9	4	1	1	2	0	0	25
校風	5	6	5	10	4	3	1	0	0	5	39
周囲	16	10	0	0	0	0	3	0	0	0	29
知名	22	7	9	0	6	0	3	1	0	0	48
立地	14	10	6	0	0	0	2	0	1	0	33
推薦	3	0	0	0	0	0	1	3	1	0	8
部活	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
留学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	95	56	33	19	31	12	16	11	4	5	282

参考：2023年度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	17	20	17	0	2	9	1	3	3	0	72
教員	0	2	1	2	3	0	0	1	1	0	10
校風	4	4	6	15	0	8	0	0	1	3	41
周囲	8	6	0	0	0	0	1	1	0	0	16
知名	11	12	3	0	3	0	1	1	0	0	31
立地	10	9	4	0	0	0	1	0	1	0	25
推薦	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
部活	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	53	53	31	17	8	17	6	7	6	3	201

参考：2022年度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	25	20	12	0	9	5	4	0	2	0	77
教員	2	5	4	17	4	1	1	1	0	0	35
校風	3	5	2	9	2	7	0	2	0	3	33
周囲	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	32
知名	11	8	6	0	2	0	2	0	0	0	29
立地	12	5	5	0	0	0	1	1	1	0	25
推薦	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
部活	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
留学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	64	29	26	17	13	9	5	4	3	241

最も多いのが「不入」と「進路」の31名で、次が「不入」と「知名」の22名である。

## 2. 自己肯定感

このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

### 【自己肯定感】

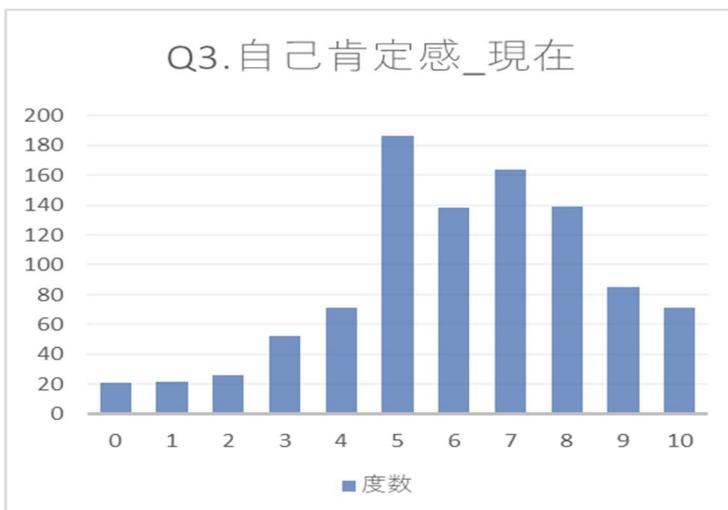
Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

<全学>

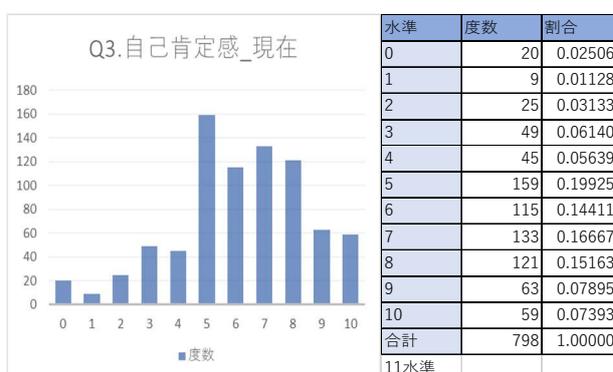
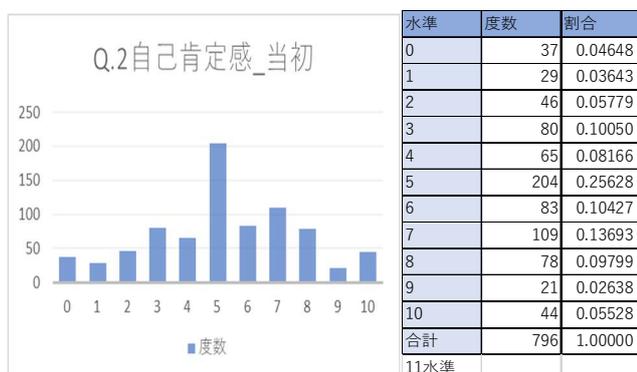


水準	度数	割合
0	42	0.04330
1	35	0.03608
2	44	0.04536
3	82	0.08454
4	97	0.10000
5	241	0.24845
6	111	0.11443
7	127	0.13093
8	95	0.09794
9	39	0.04021
10	57	0.05876
合計	970	1.00000

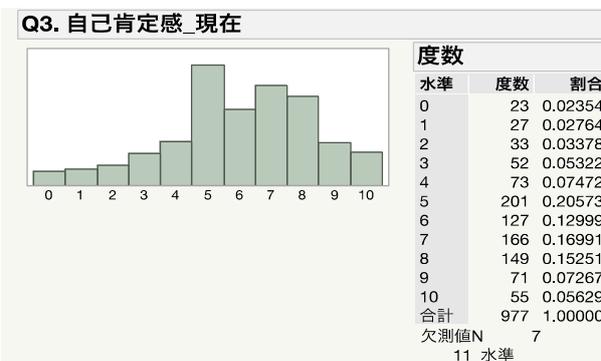
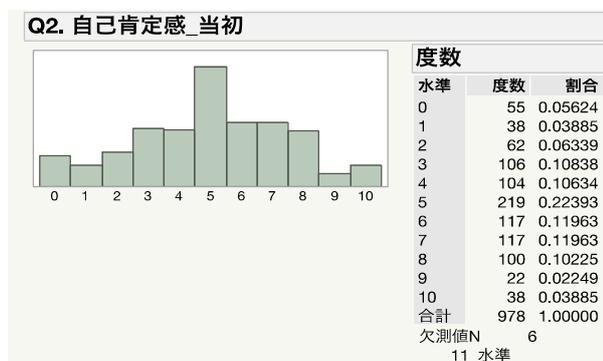


水準	度数	割合
0	21	0.02154
1	22	0.02256
2	26	0.02667
3	52	0.05333
4	71	0.07282
5	186	0.19077
6	138	0.14154
7	164	0.16821
8	139	0.14256
9	85	0.08718
10	71	0.07282
合計	975	1.00000

参考：2023 年度



参考：2022 年度



全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も 5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の 0 から最高値の 10 まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が 5.36、現在が 6.16 であり、0.8 の上昇が見られた（2022 年度は 0.99、2023 年度は 0.96 の上昇）。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感は上昇しているといえる。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。平均値は1年<2年<3年<4年と高かった。学年が進むに従って自己肯定感を高めている様子が見える。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	452	5.98	2.29	0.11
2	48	6.87	3.55	0.51
3	19	7.45	3.50	0.80
4	22	7.60	3.58	0.76

参考：2023 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	346	6.14	2.37	0.13
2	190	5.93	2.05	0.15
3	140	6.17	2.33	0.20
4	122	6.65	2.38	0.22

参考：2022 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
1	392	5.85	2.36	0.12
2	246	5.90	2.14	0.14
3	178	6.12	2.11	0.16
4	160	6.31	2.69	0.21

### 3. 他学生および教職員との関係

このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。

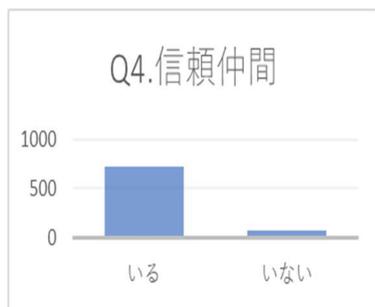
- ①いる ②いない

<全学>



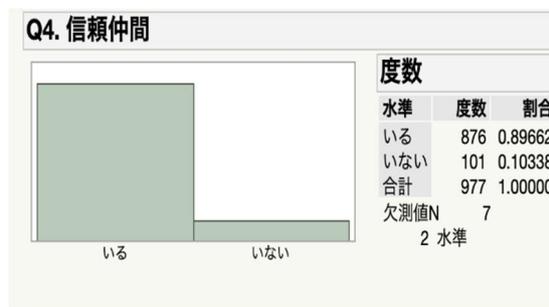
水準	度数	割合
いる	915	0.94039
いない	58	0.05961
合計	973	1.00000

参考：2023 年度



水準	度数	割合
いる	718	0.90542
いない	75	0.09458
合計	793	1.00000

参考：2022 年度



水準	度数	割合
いる	876	0.89662
いない	101	0.10338
合計	977	1.00000

欠測値N 7  
2水準

<学年別>

学年	いる	いない
1	95.58%	4.42%
2	95.19%	4.81%
3	92.37%	7.63%
4	87.39%	12.61%

参考：2023 年度

学年	いる	いない
1	94.15%	5.85%
2	90.96%	9.04%
3	86.52%	13.48%
4	84.43%	15.57%

参考：2022 年度

学年	いる	いない
1	90.28	9.72
2	92.71	7.29
3	87.08	12.92
4	86.88	13.13

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

- ① いる ② いない

<全学>

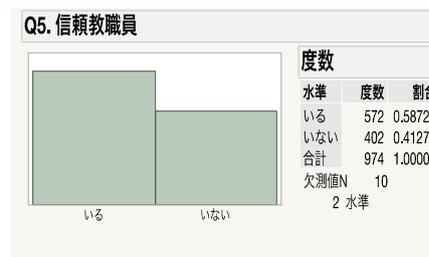


水準	度数	割合
いる	608	0.62423
いない	366	0.37577
合計	974	1.00000

参考：2023 年度



参考：2022 年度



<学年別>

学年	いる	いない
1	57.1%	42.9%
2	56.3%	43.8%
3	78.6%	21.4%
4	78.5%	21.5%

参考：2023 年度

学年	いる	いない
1	59.3%	40.7%
2	56.4%	43.6%
3	76.8%	23.2%
4	76.9%	23.1%

参考：2022 年度

学年	いる	いない
1	50.0	50.0
2	53.0	47.0
3	74.7	25.3
4	71.3	28.8

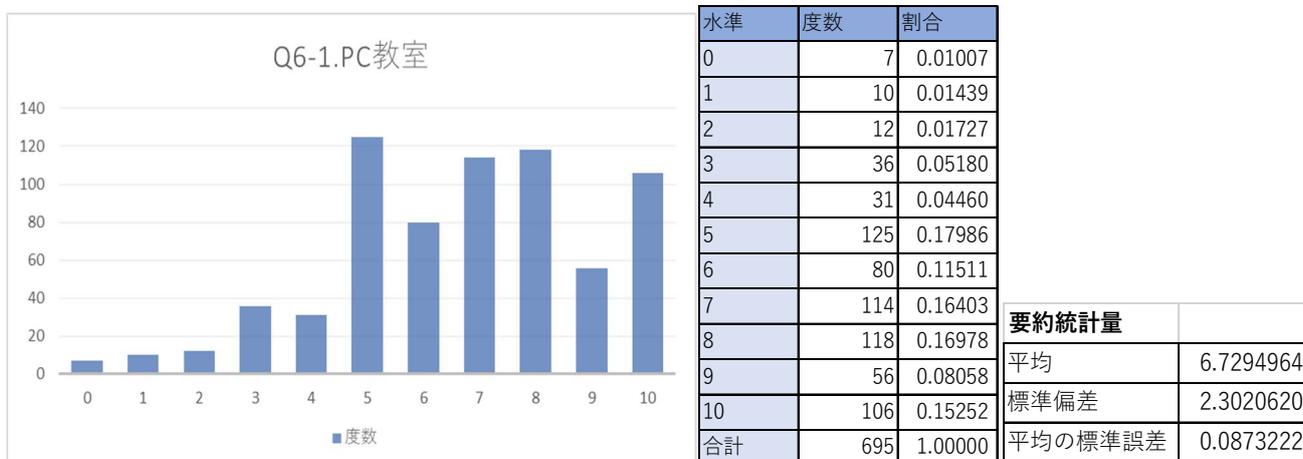
教職員に関しては全体で約62%が「いる」と答えた。学年別には、昨年度までと同様1・2年生と3・4年生の間に顕著な差がある。

## 4. 施設等満足度

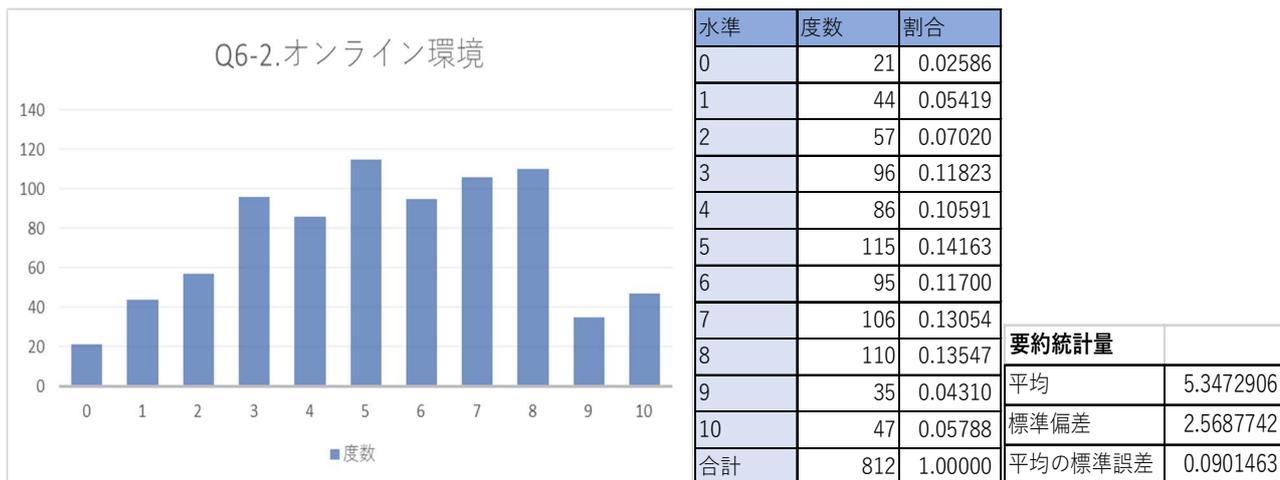
このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

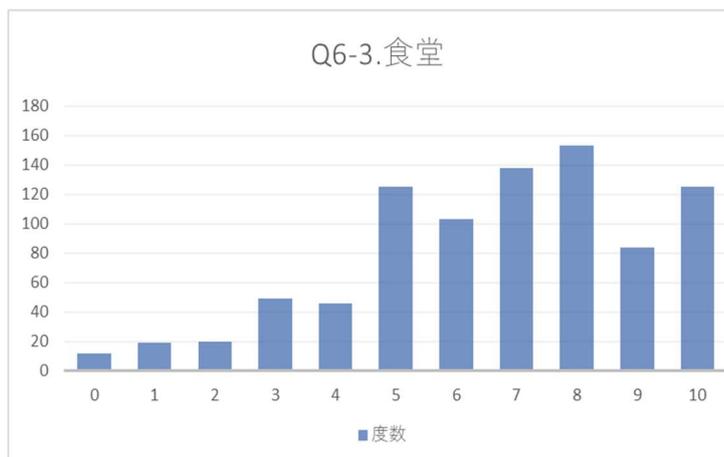
### 6.1 PC 教室



### 6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



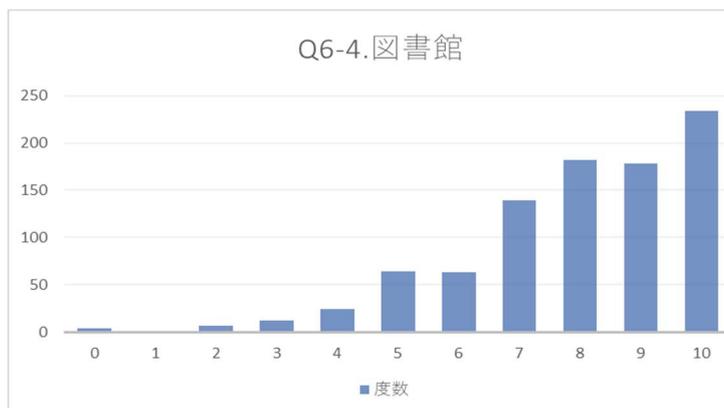
### 6.3 食堂



水準	度数	割合
0	12	0.01373
1	19	0.02174
2	20	0.02288
3	49	0.05606
4	46	0.05263
5	125	0.14302
6	103	0.11785
7	138	0.15789
8	153	0.17506
9	84	0.09611
10	125	0.14302
合計	874	1.00000

要約統計量	
平均	6.6693364
標準偏差	2.4135957
平均の標準誤差	0.0816411

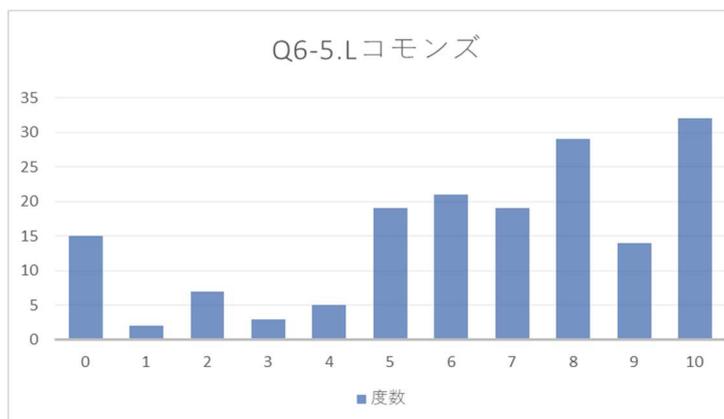
### 6.4 図書館



水準	度数	割合
0	4	0.00441
1	1	0.00110
2	7	0.00771
3	12	0.01322
4	24	0.02643
5	64	0.07048
6	63	0.06938
7	139	0.15308
8	182	0.20044
9	178	0.19604
10	234	0.25771
合計	908	1.00000

要約統計量	
平均	7.9471366
標準偏差	1.9120135
平均の標準誤差	0.0634524

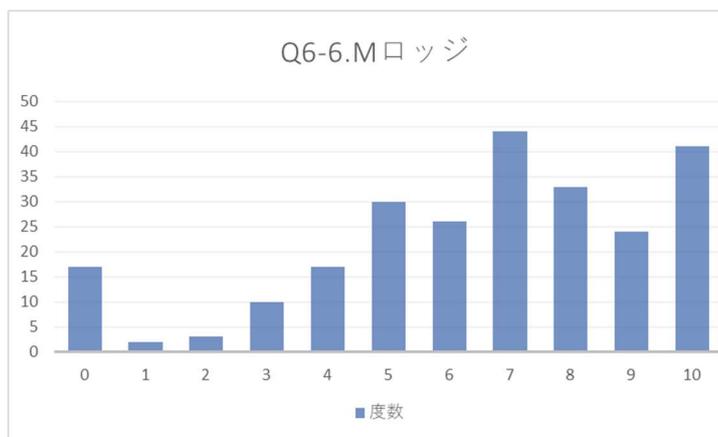
### 6.5 ラーニング・commons



水準	度数	割合
0	15	0.09036
1	2	0.01205
2	7	0.04217
3	3	0.01807
4	5	0.03012
5	19	0.11446
6	21	0.12651
7	19	0.11446
8	29	0.17470
9	14	0.08434
10	32	0.19277
合計	166	1.00000

要約統計量	
平均	6.4879518
標準偏差	3.0074966
平均の標準誤差	0.2334270

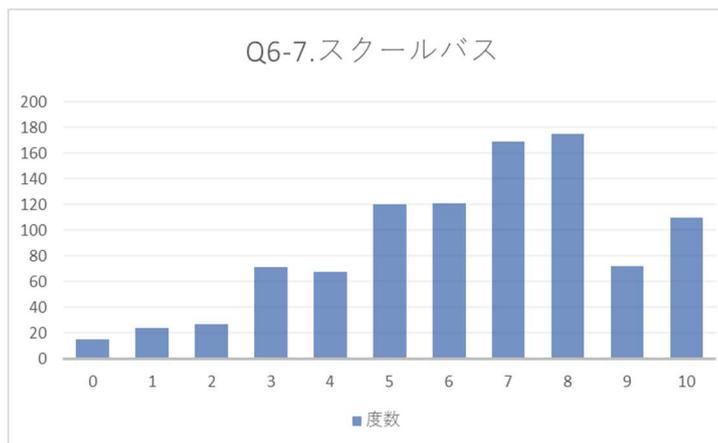
## 6.6 M ロッジ



水準	度数	割合
0	17	0.06883
1	2	0.00810
2	3	0.01215
3	10	0.04049
4	17	0.06883
5	30	0.12146
6	26	0.10526
7	44	0.17814
8	33	0.13360
9	24	0.09717
10	41	0.16599
合計	247	1.00000

要約統計量	
平均	6.5182186
標準偏差	2.7586214
平均の標準誤差	0.1755269

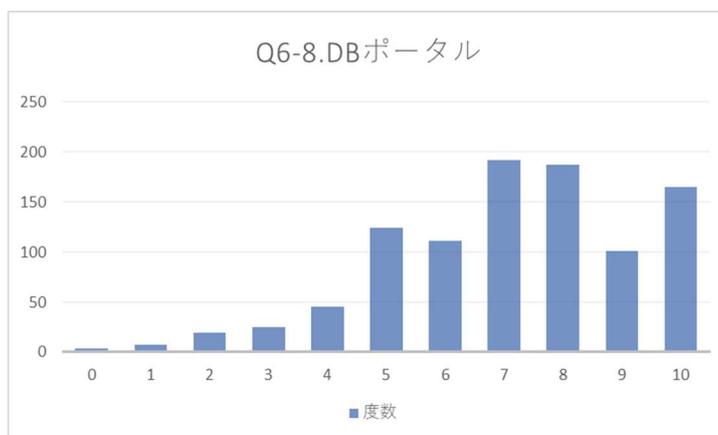
## 6.7 スクールバス



水準	度数	割合
0	15	0.01543
1	24	0.02469
2	27	0.02778
3	71	0.07305
4	68	0.06996
5	120	0.12346
6	121	0.12449
7	169	0.17387
8	175	0.18004
9	72	0.07407
10	110	0.11317
合計	972	1.00000

要約統計量	
平均	6.3991770
標準偏差	2.4269406
平均の標準誤差	0.0778442

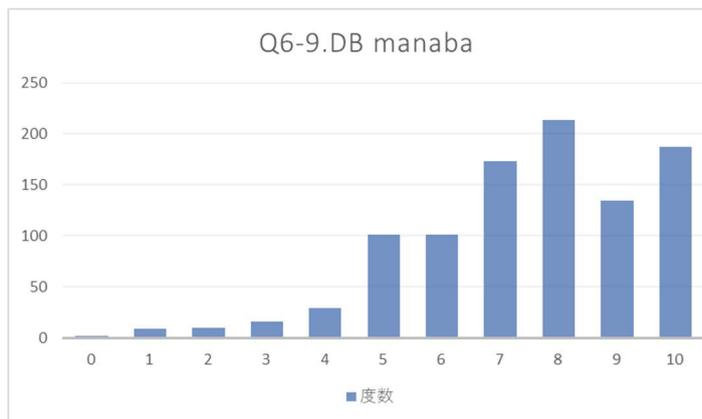
## 6.8 DB ポータル



水準	度数	割合
0	4	0.00408
1	7	0.00714
2	19	0.01939
3	25	0.02551
4	45	0.04592
5	124	0.12653
6	111	0.11327
7	192	0.19592
8	187	0.19082
9	101	0.10306
10	165	0.16837
合計	980	1.00000

要約統計量	
平均	7.1275510
標準偏差	2.1177231
平均の標準誤差	0.0676482

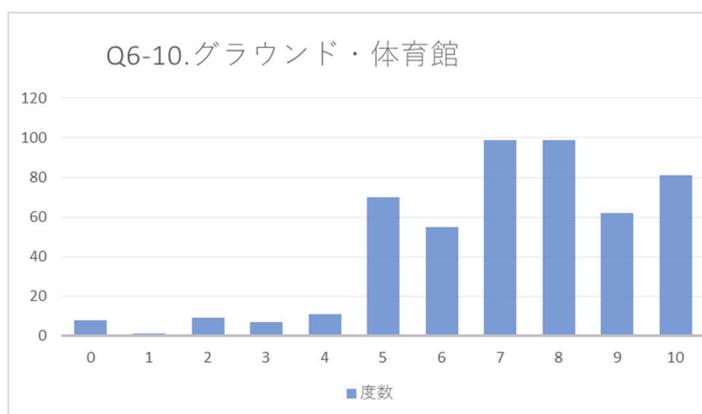
### 6.9 DB manaba



水準	度数	割合
0	2	0.00205
1	9	0.00921
2	10	0.01024
3	16	0.01638
4	29	0.02968
5	101	0.10338
6	101	0.10338
7	173	0.17707
8	214	0.21904
9	135	0.13818
10	187	0.19140
合計	977	1.00000

要約統計量	
平均	7.4841351
標準偏差	1.9984651
平均の標準誤差	0.0639366

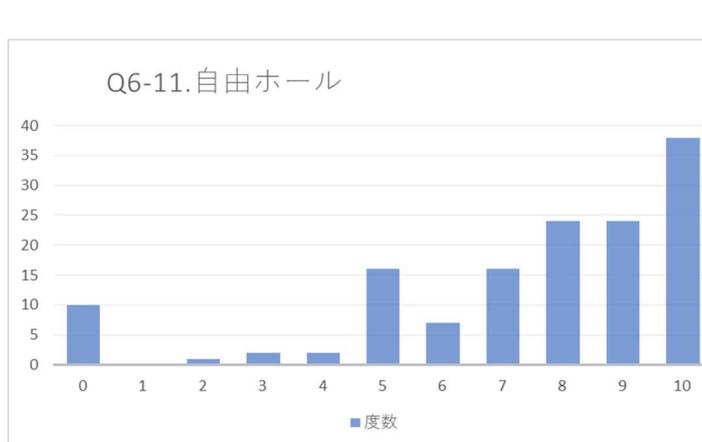
### 6.10 総合グラウンド・総合体育館



水準	度数	割合
0	8	0.01594
1	1	0.00199
2	9	0.01793
3	7	0.01394
4	11	0.02191
5	70	0.13944
6	55	0.10956
7	99	0.19721
8	99	0.19721
9	62	0.12351
10	81	0.16135
合計	502	1.00000

要約統計量	
平均	7.2051793
標準偏差	2.1189087
平均の標準誤差	0.0945715

### 6.11 板橋校舎1号館地下1F自由ホール (2024年11月供用開始)



水準	度数	割合
0	10	0.07143
1	0	0.00000
2	1	0.00714
3	2	0.01429
4	2	0.01429
5	16	0.11429
6	7	0.05000
7	16	0.11429
8	24	0.17143
9	24	0.17143
10	38	0.27143
合計	140	1.00000

要約統計量	
平均	7.4142857
標準偏差	2.7696975
平均の標準誤差	0.2340822

<平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	695	6.73	2.30
オンライン環境	812	5.35	2.57
食堂	874	6.67	2.41
図書館	908	7.95	1.91
ラーニング・コモンズ	166	6.49	3.01
Mロτζ	247	6.52	2.76
スクールバス	972	6.40	2.43
DBポータル	980	7.13	2.12
DB manaba	977	7.48	2.00
グラウンド・体育館	502	7.21	2.12
自由ホール	140	7.41	2.77

参考：2023 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	562	6.60	2.42
オンライン環境	694	4.96	2.64
食堂	703	6.52	2.51
図書館	742	7.80	2.00
ラーニング・コモンズ	94	6.22	2.99
Mロτζ	191	6.59	2.49
スクールバス	783	6.25	2.45
DBポータル	801	6.91	2.16
DB manaba	801	7.41	1.99
グラウンド・体育館	355	7.18	2.22

参考：2022 年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	688	6.18	2.46
オンライン環境	880	4.69	2.61
食堂	869	6.46	2.44
図書館	898	7.74	1.90
ラーニング・コモンズ	71	5.31	3.40
Mロτζ	199	6.20	2.60
スクールバス	966	5.86	2.56
DBポータル	974	6.79	2.22
DB manaba	974	7.38	2.00
グラウンド・体育館	433	7.00	2.25

昨年度と全く同一の回答者ではないので一概に比較はできないが、平均値は、ほぼすべての施設において昨年度よりも高くなった（Mロτζのみ微減）。ただし、依然としてオンライン環境のそれは低い傾向にある。なお、2024年11月にリニューアルオープンした「板橋自由ホール」の設問（6.11）を今年度より追加した。

## 5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 216 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

Wi-Fi 等ネット環境について	85 件
スクールバスについて	69 件
食堂等について	38 件
学内システムについて	21 件
図書館について	17 件
PC（教室）について	9 件
板橋自由ホールについて	9 件
体育施設等について	3 件
その他	21 件

### <Wi-Fi 等ネット環境について(85 件)>

昨年度までと同様、Wi-Fi 等ネット環境についての意見は、異口同音に、繋がりにくいエリアがあるので強化して欲しい、というものであった。特に、学内システムを使用して出席登録をする際や、映像教材を視聴する際に困るとの声が多く寄せられた。具体的な場所についての情報も寄せられたので担当部局とも共有していきたい。なお、本学では、以前の本調査の回答を受け、数年前から Wi-Fi 設備の増強に取り組んでいるが、ネット環境の整備については引き続き学生の強い要望があることがわかる。

### <スクールバスについて(69 件)>

スクールバスについては 69 件のコメントがあった。圧倒的に多い意見は、(1) 本数が少ない・混雑している、(2) 運転手・スタッフの対応が悪い、(3) 久喜便・鴻巣便を増便してほしい、だった。また、(4) 乗車待機時の天候や気温対策をしてほしい、(5) 利用者のマナーが悪い、等の意見も見受けられた。

### <食堂等について(38 件)>

食堂等については、(1) 値段が高い、(2) メニューに不満がある、(3) 混雑している・待ち時間が長い、という声が多かった。

### <学内システムについて(21 件)>

昨年同様、主に見られたのは、DB ポータルと DB manaba に関するコメントだった。

DB ポータルについては、(1) メッセージの通知がわかりづらい、埋もれてしまい見逃してしまう、(2) ページが見つからない、(3) スマホ版の機能を充実してほしい、などの声が多い。

DB manaba については、(1) メッセージの通知がわかりづらい、(2) 入力内容が消える、出席確認ができていなかった、との声があった。

また、共通して学内 Wi-Fi がつながりにくく、機能が十分に使えないという意見もあった。

#### <図書館について(17件)>

施設・設備に関するコメントが圧倒的に多く、具体的には(1) コンセントの増設をしてほしい、(2) Wi-Fi 等ネット環境が悪い、(3) リフレッシュコーナーや自習スペースを整備してほしい、という内容が主だった。

#### <PC(教室)について(9件)>

PC 関係では以下のコメントがあった。

1. 東松山の PC 教室の机が狭い。広めの机に変えてほしい。
2. PC 教室で文字を入力するときに触りたくないような汚さのキーボードがあった。そのために、手や周辺が汚れるような食事をする者に厳罰を与えてほしい。電源ボタンが潰れているため、電源を入れられない PC が PC 教室にも図書館にもある。
3. pc 教室の一部の教室の Wi-Fi がほかの教室よりも弱いためその環境を整えたほうが良いと思う
4. PC 教室の通信環境の悪さ
5. PC 教室の Wi-Fi が繋がりにくいことがありました。
6. PC が机にある関係上スペースが狭い。PC が机にあっても通常の机程度のスペースが欲しい。
7. 東松山校舎の pc デスクが狭すぎる
8. 多分今年の Windows 10 のサポート終了でパソコンの入れ替えが行われると思うので大丈夫だとは思いますが、パソコン教室のメモリーを 16GB に増やすべきだと思う、理由はマルチタスクで作業を行うとよくフリーズし、課題を行うことが困難になることがあるからです。
9. PC 教室で Wi-Fi が繋がりにくかったり、室内が暑いことが多いので改善して欲しい。

(原文ママ)

#### <板橋自由ホールについて(9件)>

板橋自由ホールについては以下のコメントがあった。

1. 板橋校舎の自由ホールの空調が若干暑いような気がします。(冬場ってこともあります)
2. 個別自習室の体の向き逆やろ。
3. 就活での ZOOM 環境をもう少し増やして欲しいです。
4. 板橋校舎 1 号館地下 1F 自由ホールのテレボックスを予約制にしてほしいです。用途外の利用(ただスマホを操作しているだけ、睡眠等)が散見され、本来使用したい人が利用できていない状態です。
5. 自由ホールで静かに勉強や課題などをしたいが、騒いでいる人がいると集中できないので改善して欲しい。
6. 開放時間を学校 HP 等で知らせてほしい。

7. 個室が増設されると尚良いと思う。
8. 防音個室やフカフカだが眠くならない椅子がとてもありがたいです。また、スクールバスからもそれほど遠く無いので、立地も助かります。Wi-Fi や充電できる環境もあり、絶対に無くさないで欲しいです。
9. 改装したばかりで難しいと思いますが、板橋キャンパス地下ホール入り口側にある個別ブースの遮音性が高いと嬉しいと思いました。個人ブースに入っても周りの声や音が聞こえてしまう、反対に自分が出す声が漏れてしまうと思ってあまり活用していません。web 説明会に急遽参加したいときに便利だと思います。

(原文ママ)

#### <体育施設等について(3 件)>

体育施設等について、以下のコメントがあった。

1. 体育館の床が滑る、ささくれがあり転んだ時に怪我する
2. 体育館の床の滑り
3. 夏の体育館が扇風機だけではあまりにも暑すぎる

(原文ママ)

#### <その他(21 件)>

その他に、講義教室の各席にコンセントが欲しい、ウォーターサーバーが欲しい、施設の紹介をしてほしい、などの様々な声があった。

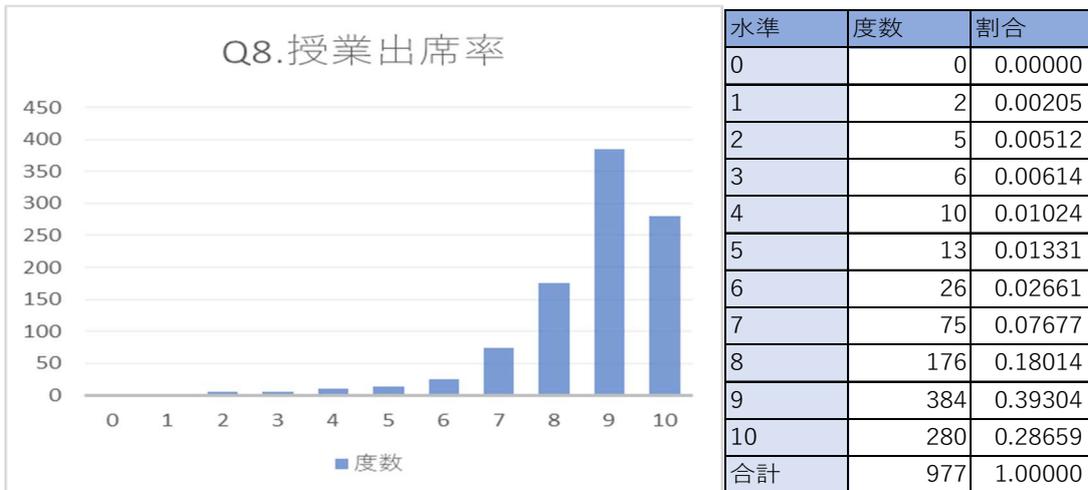
## 6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学習時間）に関する部分について結果を報告する。

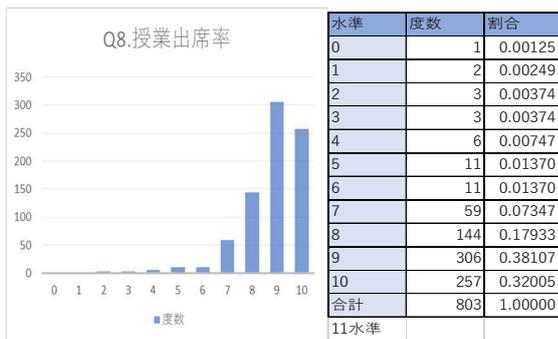
### 【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

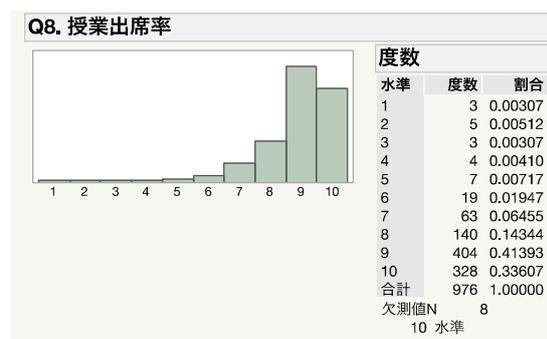
<全学>



参考：2023 年度



参考：2022 年度



全学の回答分布の最頻値は9であり、9と10で約68%を占めている。2021年度は最頻値が10であり、9と10で約78%を占めていた。2022年度は最頻値が9であり、9と10で約75%を占めていた。また、2023年度は最頻値が9であり、9と10で約70%を占めていた。すなわち若干ではあるが3年連続で出席率が下がっているといえる。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	451	8.61	1.48
2	273	8.75	1.27
3	132	8.88	1.31
4	121	8.57	1.50

参考：2023 年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	346	8.80	1.30
2	192	8.82	1.12
3	141	8.91	1.47
4	124	8.52	1.67

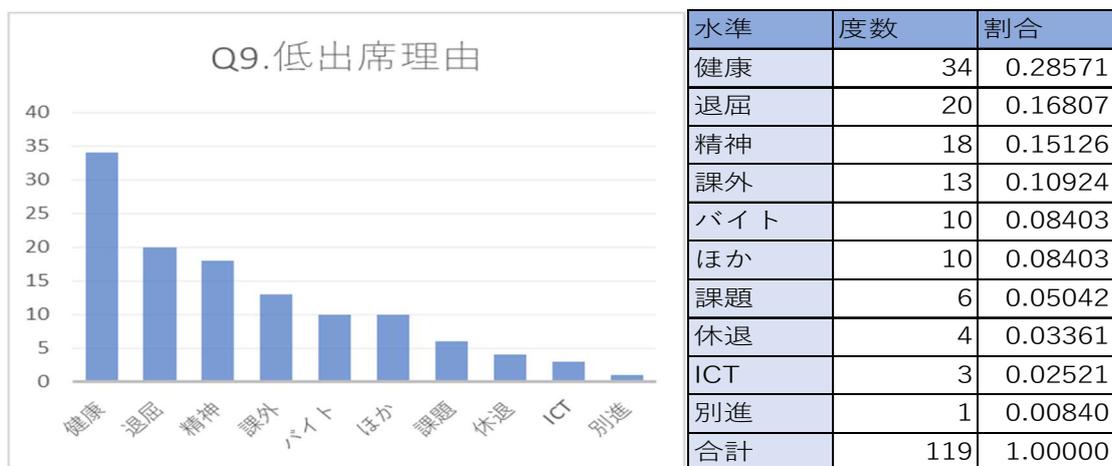
参考：2022 年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	391	8.66	1.51
2	247	9.10	1.02
3	177	9.08	0.97
4	160	8.81	1.34

Q9 Q8 で 0～4 を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを 2 つまで)

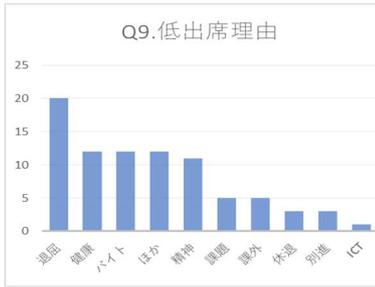
- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動（部活・サークル活動等）に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]
- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]
- ⑨別の進路を考えている [別進]
- ⑩その他 [ほか]

<全学>

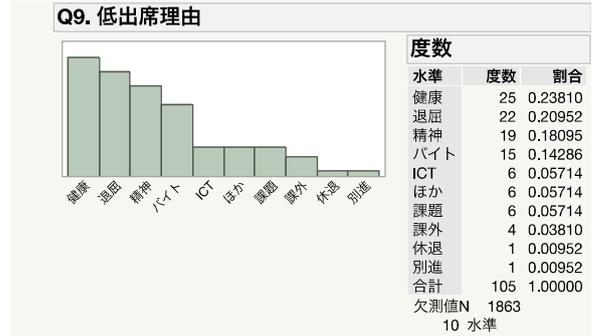


参考：2023 年度

参考：2022 年度



水準	度数	割合
退屈	20	0.23810
健康	12	0.14286
バイト	12	0.14286
ほか	12	0.14286
精神	11	0.13095
課題	5	0.05952
課外	5	0.05952
休退	3	0.03571
別進	3	0.03571
ICT	1	0.01190
合計	84	1.00000
10水準		



最も頻度が高いのは「健康」で、次に「退屈」と「精神」が続いている。2023年度に割合が大きく減少した「健康」だったが、再び増加し「退屈」と入れ替わった。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を1.00としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は84人なので、回答した人数に対する割合は、以下ようになる。回答者の約41%が「健康」を、約24%が「退屈」をあげた。2021年度以降、出席率が悪かったと回答した学生のうち30%超の学生が「退屈」をあげていたが、約24%にまで減少した。引き続き「退屈」のより一層の解消が望まれる。また、過去2年の数値と比較して、課外（課外活動（部活・サークル活動等）に時間を費やしていた）が大きく増加していることは、コロナ禍が明けた社会を表しているといえよう。

健康	退屈	精神	課外	バイト	ほか	課題	ICT	休退	別進
34	20	18	13	10	10	6	3	4	1
40.5%	23.8%	21.4%	15.5%	11.9%	11.9%	7.1%	3.6%	4.8%	1.2%

参考：2023年度

退屈	健康	バイト	ほか	精神	課題	課外	休退	別進	ICT
20	12	12	12	11	5	5	3	3	1
33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	18.3%	8.3%	8.3%	5.0%	5.0%	1.7%

参考：2022年度

健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
25	22	19	15	6	6	6	4	1	1
35.2%	31.0%	26.8%	21.1%	8.5%	8.5%	8.5%	5.6%	1.4%	1.4%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示する。

<学年別> (度数)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	19	10	10	5	2	6	1	7	3	0	63
2	11	3	4	1	0	0	2	1	0	1	23
3	1	3	1	0	0	2	2	4	0	0	13
4	3	4	3	4	1	2	1	1	1	0	20
合計	34	20	18	10	3	10	6	13	4	1	119

参考：2023 年度

学年By Q9.低出席理由

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	9	10	3	4	1	6	0	3	1	1	38
2	1	3	1	3	0	4	2	1	1	0	16
3	1	5	2	2	0	1	1	1	1	2	16
4	1	2	5	3	0	1	2	0	0	0	14
合計	12	20	11	12	1	12	5	5	3	3	84

参考：2022 年度

学年 By Q9. 低出席理由

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	15	12	13	8	5	5	3	0	1	1	63
2	4	4	2	3	0	1	1	2	0	0	17
3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	9
4	3	3	3	3	0	0	2	2	0	0	16
合計	25	22	19	15	6	6	6	4	1	1	105

<学年別> (学年内パーセンテージ)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	30.2%	15.9%	15.9%	7.9%	3.2%	9.5%	1.6%	11.1%	4.8%	0.0%
2	47.8%	13.0%	17.4%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	4.3%
3	7.7%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	30.8%	0.0%	0.0%
4	15.0%	20.0%	15.0%	20.0%	5.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%

参考：2023 年度

学年By Q9.低出席理由

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	23.7%	26.3%	7.9%	10.5%	2.6%	15.8%	0.0%	7.9%	2.6%	2.6%
2	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
3	6.3%	31.3%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%
4	7.1%	14.3%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

参考: 2022 年度

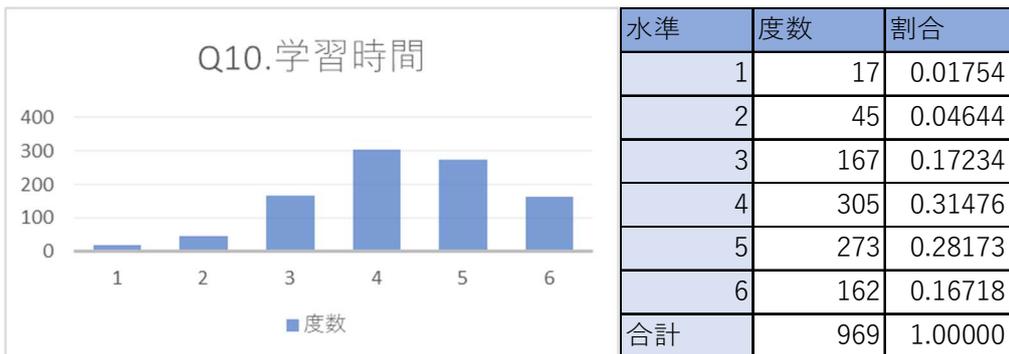
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	23.8	19.1	20.6	12.7	7.9	7.9	4.8	0.0	1.6	1.6
2	23.5	23.5	11.8	17.7	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0
3	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0

度数に関して、1年生が63と突出しているが回答した母数もまた1年生が最も多いことの反映ともいえる。低出席理由を「健康」と回答した2年生の割合は約48%であり、低出席理由を回答した2年生のうち約半分もの学生が選択している。昨年度よりも「休退」(休学・退学を考えている)、「別進」(別の進路を考えている)と回答した割合が減少していることは良い傾向であるが、2022年度と比較すると未だ高い水準にあるといえる。

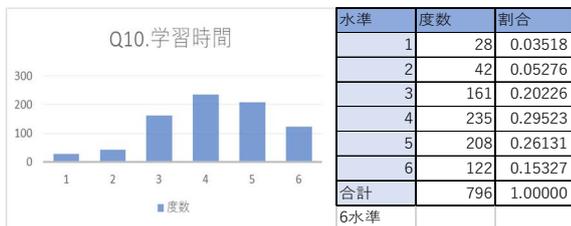
Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

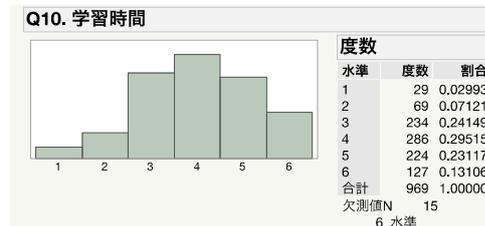
<全学>



参考: 2023 年度



参考: 2022 年度



最頻値は4(1時間程度)で、約30%を占める。2022年度、2023年度とほぼ同様の結果である。大学生の学習時間としては少ないと言わざるを得ない。6(ほぼしない)は2021年度の約12%から3年連続で増加し、約17%だった。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5	6
1	0.7%	5.3%	14.5%	34.1%	29.0%	16.5%
2	1.9%	3.3%	18.9%	27.0%	30.4%	18.5%
3	3.1%	5.3%	19.1%	32.8%	21.4%	18.3%
4	4.2%	4.2%	21.8%	30.3%	27.7%	11.8%

参考：2023 年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.3%	4.4%	21.3%	27.4%	30.0%	14.6%
2	1.6%	4.7%	20.9%	29.3%	24.1%	19.4%
3	8.2%	3.7%	20.1%	33.6%	22.4%	11.9%
4	4.1%	9.8%	16.4%	32.0%	23.0%	14.8%

参考：2022 年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	1.8%	4.9%	20.9%	28.4%	28.7%	15.2%
2	2.0%	8.9%	28.5%	35.8%	15.4%	9.3%
3	6.8%	10.2%	25.6%	27.3%	18.8%	11.4%
4	3.1%	6.3%	23.9%	25.2%	25.8%	15.7%

学年別には1（4時間以上）の割合が最も高いのは4年生である。1と2の合計（すなわち3時間以上学習している）による学年の順序は2年<1年<3年=4年、1と2と3の合計（すなわち2時間以上学習している）による学年の順序は1年<2年<3年<4年であった。したがって、1・2年生の学習時間より、3・4年生の学習時間の方が長いといえる。

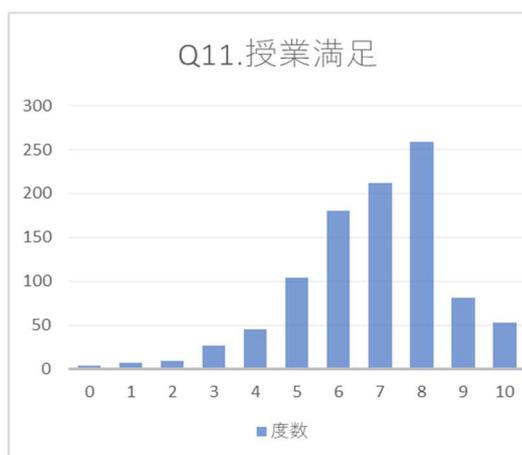
## 7. 授業満足度

このセクションでは、Q11（授業満足度）、Q12（満足度が高い理由）、Q13（満足度が低い理由）に関する部分について結果を報告する。

### 【これまでの授業への満足度】

Q11 本学でこれまで履修してきた授業に対する全体的な満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の11段階で選択してください。

<全学>

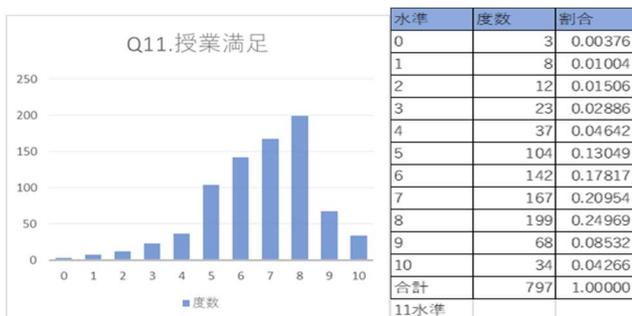


水準	度数	割合
0	4	0.00408
1	7	0.00714
2	9	0.00917
3	27	0.02752
4	45	0.04587
5	104	0.10601
6	180	0.18349
7	212	0.21611
8	259	0.26402
9	81	0.08257
10	53	0.05403
合計	981	1.00000

要約統計量	
平均	6.8307849
標準偏差	1.7884869
平均の標準誤差	0.0571020

昨年度と同様、最頻値は8（80%満足）であり、ついで7（70%満足）と6（60%満足）が多かった。しかし0（0%満足）から10（100%満足）まで広い範囲に分布しており、平均値は6.83である。全体としては68.3%程度の満足、ということになる。

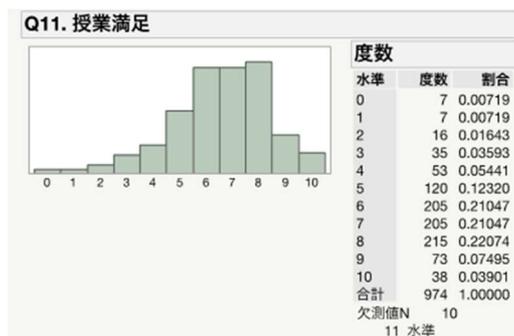
参考：2023年度



水準	度数	割合
0	3	0.00376
1	8	0.01004
2	12	0.01506
3	23	0.02886
4	37	0.04642
5	104	0.13049
6	142	0.17817
7	167	0.20954
8	199	0.24969
9	68	0.08532
10	34	0.04266
合計	797	1.00000
11水準		

要約統計量	
平均	6.6925972
標準偏差	1.8391007
平均の標準誤差	0.0651443

参考：2022 年度



要約統計量	
平均	6.5482546
標準偏差	1.8602876
平均の標準誤差	0.0596075
平均の上側95%	6.6652286
平均の下側95%	6.4312806
N	974

<学年別>

学年	数	平均	標準偏差
1	453	6.70	1.87
2	273	6.83	1.61
3	133	7.05	1.65
4	122	7.07	1.94

参考：2023 年度

学年	数	平均	標準偏差
1	343	6.68	1.84
2	190	6.55	1.78
3	140	6.69	1.80
4	124	6.95	1.96

参考：2022 年度

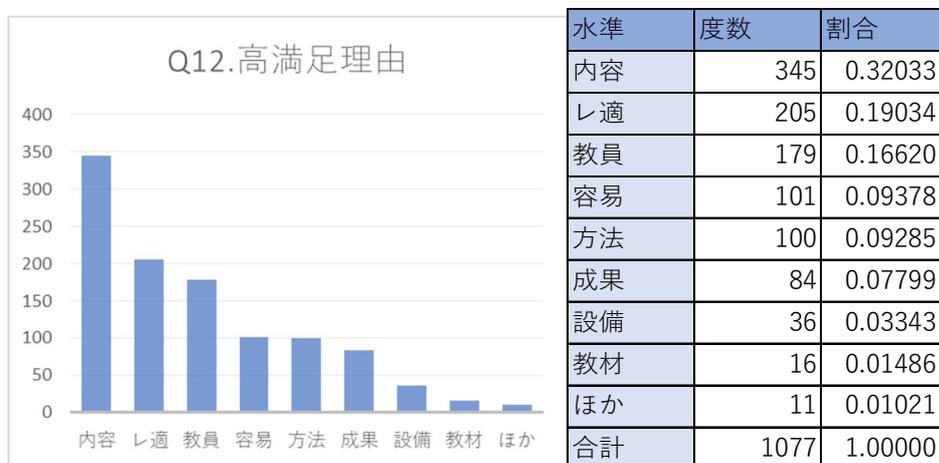
学年	数	平均	標準偏差
1	390	6.44	1.86
2	247	6.59	1.67
3	177	6.74	1.65
4	159	6.53	2.32

1年<2年<3年<4年と、学年が上がるにつれ、満足度の平均値が上昇する傾向だった。

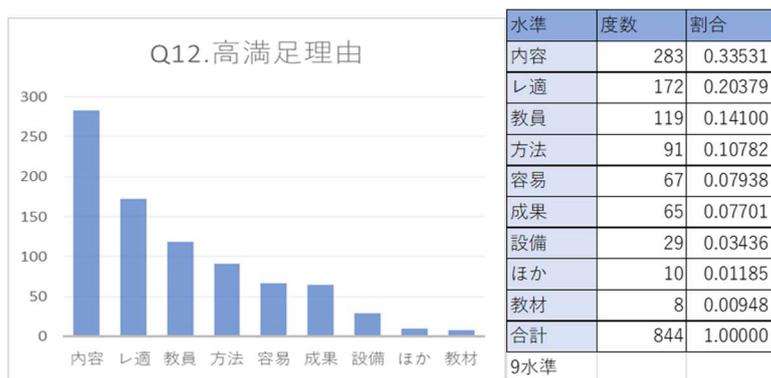
Q12 Q11 で7~10を選んだ方は、満足度が(比較的)高い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容がよい [内容]
- ②授業方法がよい [方法]
- ③担当教員が魅力的である [教員]
- ④単位の修得が容易である [容易]
- ⑤授業レベルが自分に合っている [レ適]
- ⑥教材がよい [教材]
- ⑦施設/設備がよい [設備]
- ⑧授業の成果が実感できる [成果]
- ⑨その他 [ほか]

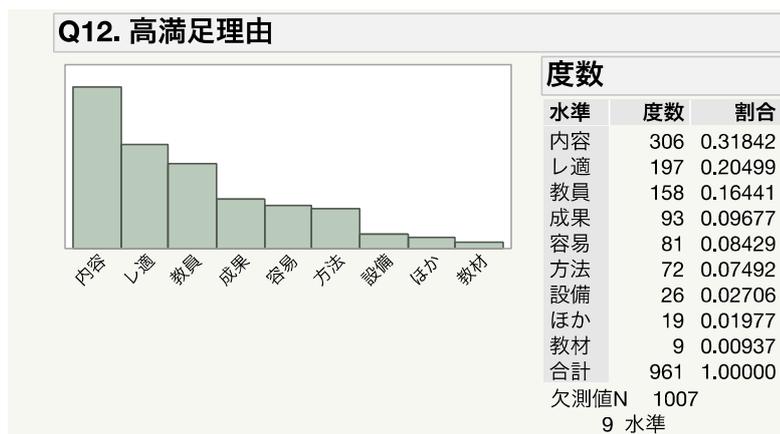
<全学>



参考：2022年度



参考：2022 年度



2022 年度より 3 年連続で、内容（授業内容がよい）＞レ適（授業レベルが自分に合っている）＞教員（担当教員が魅力的である） の 3 つの順位は共通である。

学年別の結果を以下に示す。

<学年別>

学年	内容	レ適	教員	成果	容易	方法	設備	ほか	教材
1	33.7%	18.9%	13.5%	8.5%	9.8%	9.6%	3.3%	1.0%	1.7%
2	29.2%	20.0%	18.0%	6.8%	10.8%	9.5%	3.7%	1.4%	0.7%
3	32.9%	18.1%	22.6%	7.1%	6.5%	9.0%	1.9%	0.6%	1.3%
4	31.5%	18.5%	17.8%	8.2%	8.2%	8.2%	4.1%	0.7%	2.7%

参考：2023 年度

学年	内容	レ適	教員	方法	成果	容易	設備	ほか	教材
1	33.4%	20.1%	12.5%	11.6%	8.2%	8.2%	4.2%	1.1%	0.6%
2	33.8%	22.7%	13.6%	11.6%	5.1%	7.6%	3.0%	1.5%	1.0%
3	33.8%	21.4%	17.5%	8.4%	8.4%	7.8%	1.9%	0.6%	0.0%
4	33.1%	16.5%	15.1%	10.1%	9.4%	7.9%	3.6%	1.4%	2.9%

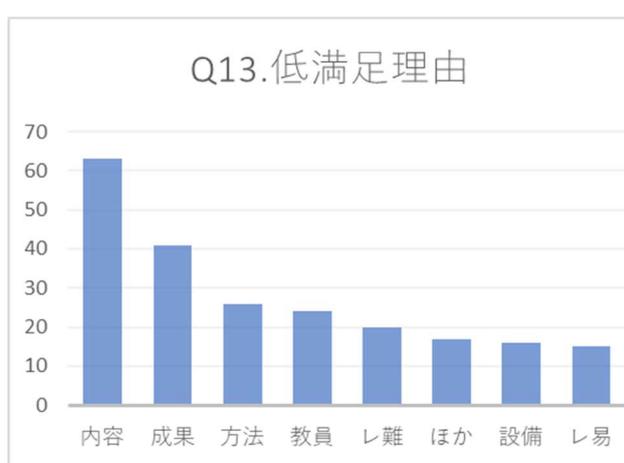
参考：2022 年度

学年	内容	レ適	教員	成果	容易	方法	設備	ほか	教材
1	28.5	25.2	14.4	9.1	9.1	7.2	3.1	2.5	0.8
2	32.8	19.3	14.3	12.3	7.0	9.8	0.8	2.9	0.8
3	37.8	17.1	19.2	8.8	5.2	7.3	2.6	1.6	0.5
4	30.4	16.2	21.1	8.1	12.4	5.0	5.0	0.0	1.9

Q13 Q11 で 0~4 を選んだ方は、満足度が(比較的)低い理由を教えてください。(主なものを 2 つまで)

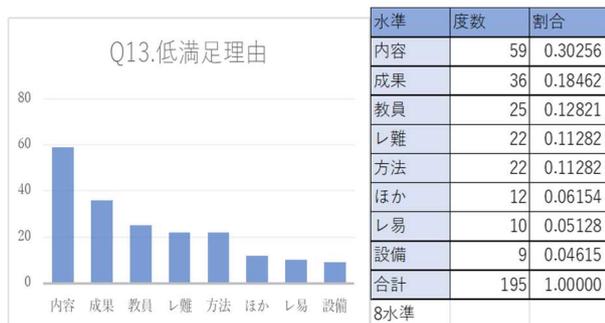
- ①授業内容に魅力がない [内容]
- ②授業方法になじめない [方法]
- ③担当教員と相性が悪い [教員]
- ④授業レベルが難しすぎる [レ難]
- ⑤授業レベルが簡単すぎる [レ易]
- ⑥施設/設備が貧弱である [設備]
- ⑦授業の成果が実感できない [成果]
- ⑧その他 [ほか]

<全学>

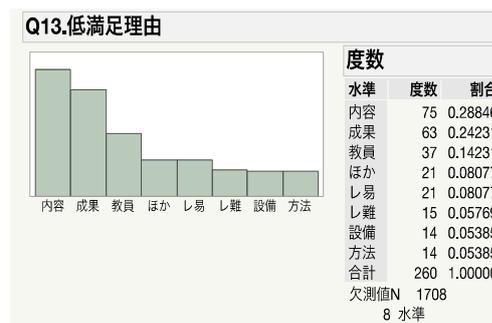


水準	度数	割合
内容	63	0.28378
成果	41	0.18468
方法	26	0.11712
教員	24	0.10811
レ難	20	0.09009
ほか	17	0.07658
設備	16	0.07207
レ易	15	0.06757
合計	222	1.00000

参考：2023 年度



参考：2022 年度



昨年度と同様、満足度が低い場合にもっとも多い理由は「内容」(授業内容に魅力がない)で、次いで「成果」(授業の成果が実感できない)であった。「方法」が大きく順位を伸ばしたが、上位2つの主要な要因は変わっていない。また「レ易」(授業レベルが簡単すぎる)と「レ難」(授業レベルが難しすぎる)の両方があるのがレベル設定の上で悩ましいことである。

<学年別>

学年	内容	成果	教員	ほか	レ易	レ難	設備	方法
1	27.9%	18.9%	10.7%	8.2%	6.6%	8.2%	8.2%	11.5%
2	23.6%	18.2%	14.5%	7.3%	7.3%	12.7%	0.0%	16.4%
3	41.2%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%
4	32.1%	21.4%	3.6%	7.1%	7.1%	3.6%	17.9%	7.1%

参考：2023 年度

学年	内容	成果	教員	方法	レ難	ほか	レ易	設備
1	26.8%	14.6%	8.5%	14.6%	15.9%	6.1%	4.9%	8.5%
2	32.3%	16.9%	23.1%	7.7%	10.8%	3.1%	4.6%	1.5%
3	33.3%	30.0%	0.0%	10.0%	6.7%	10.0%	6.7%	3.3%
4	33.3%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%

参考：2022 年度

学年	内容	成果	教員	ほか	レ易	レ難	設備	方法
1	25.6	17.1	11.1	10.3	12.0	11.1	6.8	6.0
2	29.0	29.0	25.8	4.8	3.2	1.6	4.8	1.6
3	32.3	35.5	9.7	3.2	6.5	0.0	3.2	9.7
4	34.0	28.0	10.0	10.0	6.0	2.0	4.0	6.0

学年別に見るとどの学年も「内容」が多かった。2022 年度、2023 年度と見比べてみるとパターンが異なるので、これらは学年の特徴というよりも、その年ごとの学生集団の特徴なのかも知れない。ただいずれにせよ回答率が低いので解釈の妥当性は限定的である。

## 8. DP 達成度

このセクションでは、Q14～Q22（DP 達成度）に関する部分について結果を報告する。

### 【DP 達成度】

以下の設問は、本学の「卒業認定・学位授与方針」に関連した問いです。本学では以下のような力を身につけた学生に卒業を認定すると定めています。現時点での自分の認識として、それぞれの力がどの程度身についていると思いますか。0(まったく身につけていない)～10(100%身につけている)の11段階で選んでください。

Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

Q15 「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

Q18 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

Q19 「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

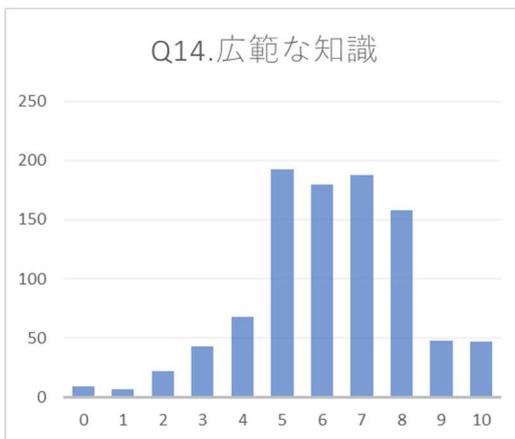
Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

次ページより各問に関して、全学の回答分布、全学の要約統計量、学年別の平均と標準偏差を示す。全学の回答に関しては、最頻値は Q17 が 7 (70%身につけている) で、それ以外は 5 (50%身につけている) である。学年別に見ると全ての設問で、1年<2年<3年<4年と平均値が上昇している。

Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

<全学>



水準	度数	割合
0	9	0.00935
1	7	0.00727
2	22	0.02285
3	43	0.04465
4	68	0.07061
5	193	0.20042
6	180	0.18692
7	188	0.19522
8	158	0.16407
9	48	0.04984
10	47	0.04881
合計	963	1.00000

要約統計量	
平均	6.2087227
標準偏差	1.9508623
平均の標準誤差	0.0628657

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	445	5.84	2.02
2	267	6.15	1.65
3	131	6.69	1.80
4	120	7.18	2.04

Q15「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

<全学>

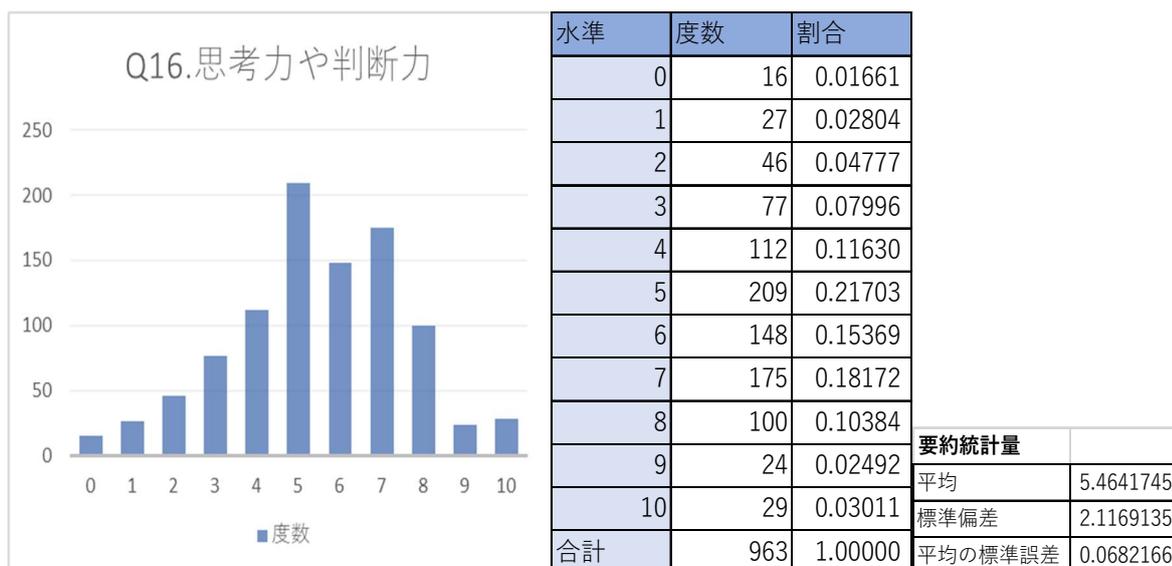


<学科別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	444	5.50	2.06
2	268	5.85	1.81
3	130	6.27	1.93
4	122	6.66	2.17

Q16「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

<全学>



<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	442	5.15	2.11
2	269	5.34	1.96
3	131	5.92	1.94
4	121	6.38	2.31

Q17「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

<全学>



水準	度数	割合
0	9	0.00932
1	11	0.01139
2	24	0.02484
3	50	0.05176
4	65	0.06729
5	174	0.18012
6	163	0.16874
7	187	0.19358
8	163	0.16874
9	64	0.06625
10	56	0.05797
合計	966	1.00000

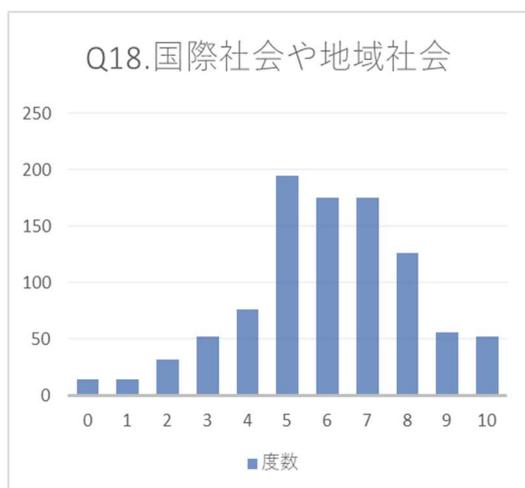
要約統計量	
平均	6.2795031
標準偏差	2.0608080
平均の標準誤差	0.0663054

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	445	6.04	2.08
2	270	6.15	1.86
3	130	6.82	2.04
4	121	6.87	2.22

Q18「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

<全学>



水準	度数	割合
0	14	0.01448
1	14	0.01448
2	32	0.03309
3	52	0.05377
4	76	0.07859
5	195	0.20165
6	175	0.18097
7	175	0.18097
8	126	0.13030
9	56	0.05791
10	52	0.05377
合計	967	1.00000

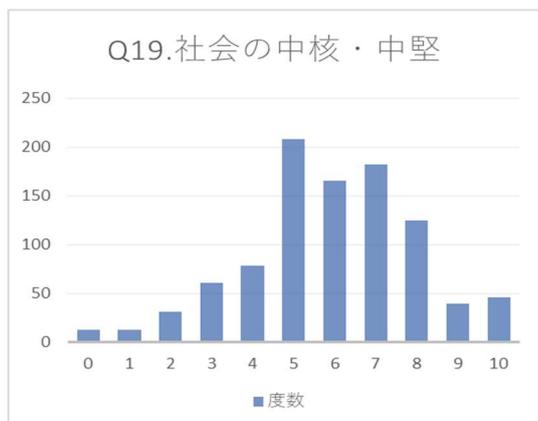
要約統計量	
平均	6.0186143
標準偏差	2.1203854
平均の標準誤差	0.0681870

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	445	5.80	2.15
2	271	5.87	2.00
3	130	6.36	1.96
4	121	6.79	2.19

Q19「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

<全学>



水準	度数	割合
0	13	0.01353
1	13	0.01353
2	31	0.03226
3	61	0.06348
4	78	0.08117
5	208	0.21644
6	165	0.17170
7	182	0.18939
8	125	0.13007
9	39	0.04058
10	46	0.04787
合計	961	1.00000

要約統計量	
平均	5.9157128
標準偏差	2.0705991
平均の標準誤差	0.0667935

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	442	5.70	2.08
2	270	5.76	1.87
3	129	6.27	2.03
4	120	6.68	2.26

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

<全学>



水準	度数	割合
0	13	0.01353
1	12	0.01249
2	26	0.02706
3	61	0.06348
4	84	0.08741
5	193	0.20083
6	175	0.18210
7	168	0.17482
8	136	0.14152
9	50	0.05203
10	43	0.04475
合計	961	1.00000

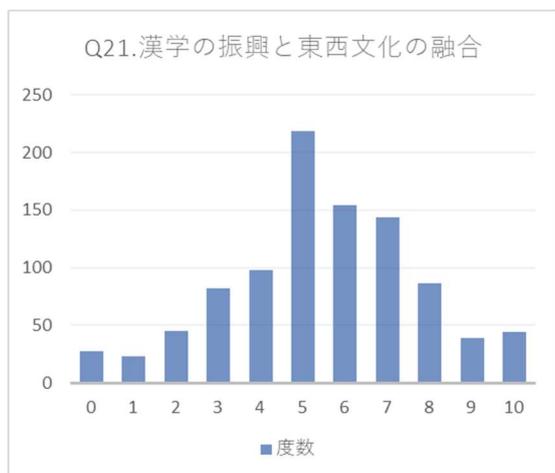
要約統計量	
平均	5.975026
標準偏差	2.0683937
平均の標準誤差	0.0667224

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	443	5.69	2.10
2	270	5.89	1.85
3	129	6.32	1.92
4	119	6.85	2.26

Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

<全学>



水準	度数	割合	要約統計量	
0	27	0.02810		
1	23	0.02393		
2	45	0.04683		
3	82	0.08533		
4	98	0.10198		
5	219	0.22789		
6	154	0.16025		
7	144	0.14984		
8	86	0.08949	平均	5.4703434
9	39	0.04058	標準偏差	2.2556219
10	44	0.04579	平均の標準誤差	0.0727620
合計	961	1.00000		

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	445	5.26	2.26
2	268	5.27	2.04
3	128	5.85	2.36
4	120	6.30	2.36

Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

<全学>



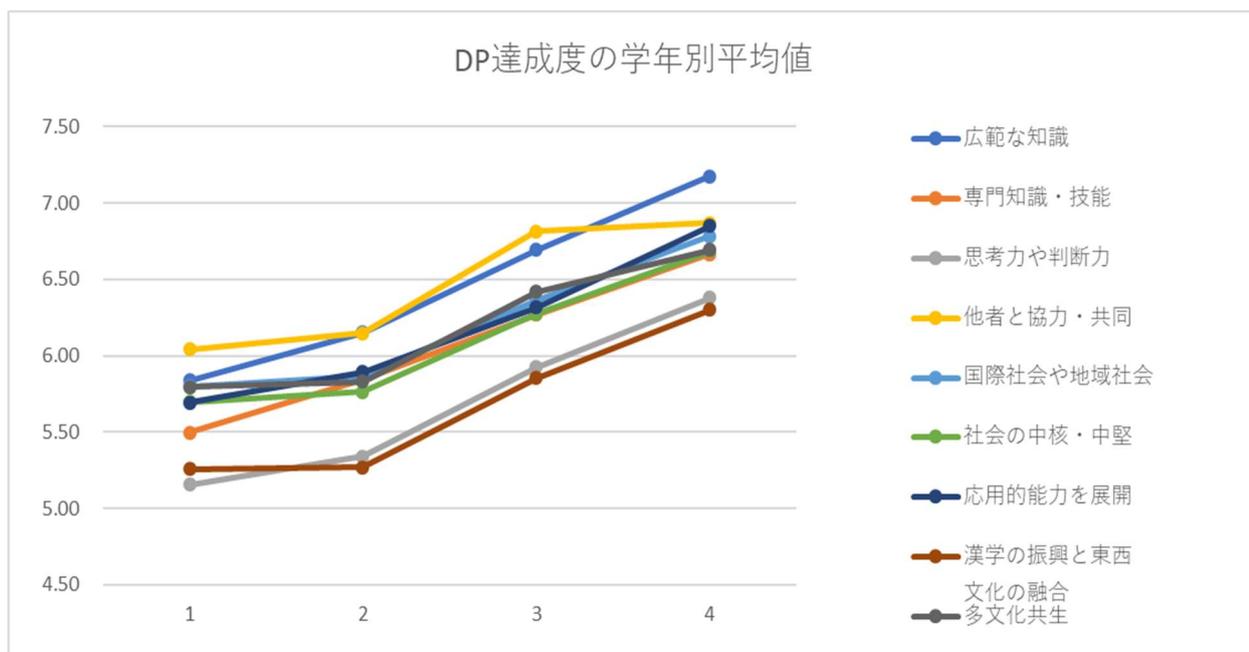
水準	度数	割合	要約統計量	
0	12	0.01246		
1	15	0.01558		
2	36	0.03738		
3	49	0.05088		
4	86	0.08930		
5	189	0.19626		
6	173	0.17965		
7	169	0.17549		
8	136	0.14123	平均	6.0000000
9	34	0.03531	標準偏差	2.1375348
10	64	0.06646	平均の標準誤差	0.0688811
合計	963	1.00000		

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	445	5.80	2.17
2	269	5.83	1.94
3	129	6.42	2.03
4	120	6.69	2.34

以上の DP 達成度の平均値学年推移を一つの表、グラフにまとめて表示すると以下のようになる。

学年	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	広 範 な 知 識	専 門 知 識 ・ 技 能	思 考 力 や 判 断 力	他 者 と 協 力 ・ 共 同	国 際 社 会 や 地 域 社 会	社 会 の 中 核 ・ 中 堅	応 用 的 能 力 を 展 開	文 化 の 融 合 と 東 西	多 文 化 共 生
1	5.84	5.50	5.15	6.04	5.80	5.70	5.69	5.26	5.80
2	6.15	5.85	5.34	6.15	5.87	5.76	5.89	5.27	5.83
3	6.69	6.27	5.92	6.82	6.36	6.27	6.32	5.85	6.42
4	7.18	6.66	6.38	6.87	6.79	6.68	6.85	6.30	6.69



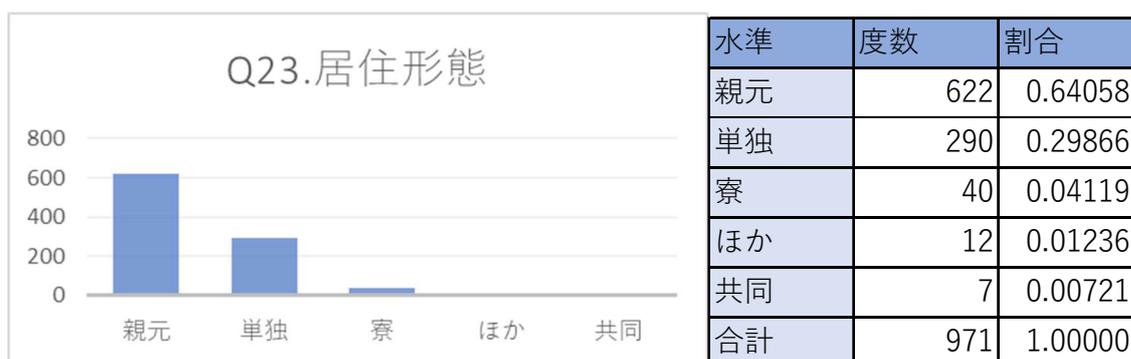
## 9. 生活・心身の悩み・経済状況など

このセクションでは、Q23～Q39 の、生活状況や悩みの有無、経済状況等に関する部分について結果を報告する。

### 【現在の生活状況】

Q23 今年度の居住形態はどれに当てはまりますか。最も期間が長いものを選んでください。

- ①親元で暮らしている [親元]
- ②ひとり暮らし [単独]
- ③学生寮・部活動の寮 [寮]
- ④ルームシェア・シェアハウス [共同]
- ⑤その他 [ほか]

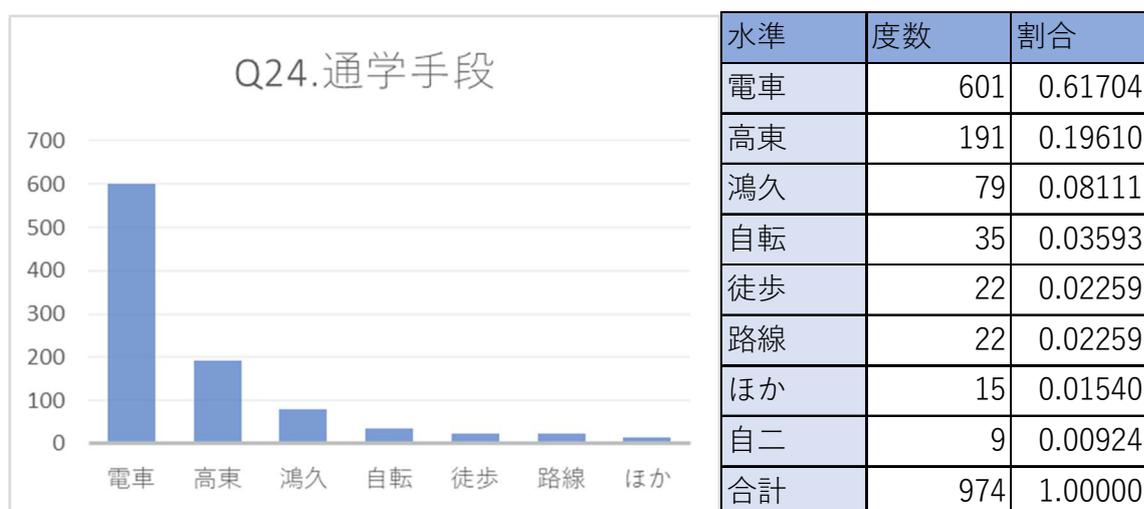


学年	親元	単独	寮	ほか	共同
1	66.1%	28.8%	3.6%	0.9%	0.7%
2	60.7%	33.0%	4.4%	1.9%	0.0%
3	62.4%	29.3%	5.3%	1.5%	1.5%
4	65.8%	27.5%	4.2%	0.8%	1.7%

居住形態に関しては、約 64%が「親元で暮らしている」と答えた。このことから、昨年度までに引き続き本学において首都圏近郊からの進学・通学者が多いことがうかがえる。

Q24 通常時の主な通学手段は何ですか。最も利用時間が長いものを選んでください。

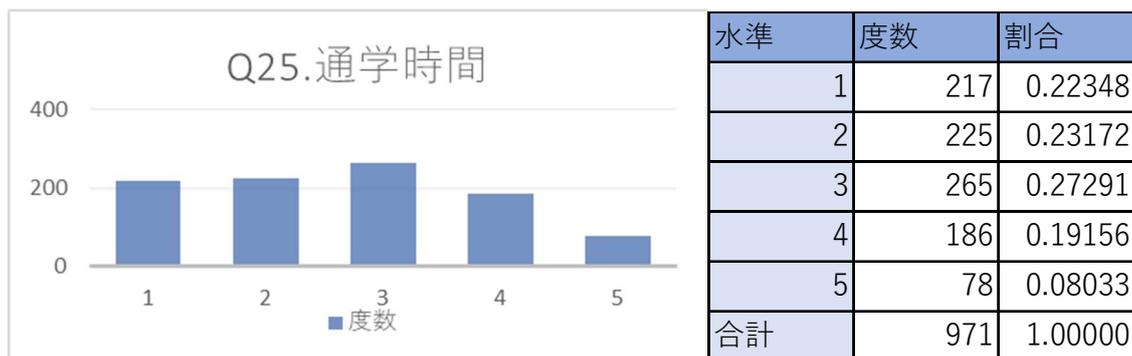
- ①電車 [電車]
- ②スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス） [高東]
- ③スクールバス（鴻巣便／久喜便） [鴻久]
- ④路線バス [路線]
- ⑤自動二輪・原付 [自二]
- ⑥自転車 [自転]
- ⑦徒歩 [徒歩]
- ⑧その他 [ほか]



通学手段に関して、約62%が「電車」と答えた。次いで約20%が「スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス）」であり、キャンパスの最寄り駅周辺に居住している学生の利用がうかがえる。また、約8%が「スクールバス（鴻巣便／久喜便）」であり、このことから埼玉県東部地域居住学生の通学手段の需要が一定数あることが見てとれる。

Q25 通常時の通学所要時間(片道)はどの程度ですか。

- ①30分未満
- ②30分～1時間未満
- ③1時間～1時間30分未満
- ④1時間30分～2時間未満
- ⑤2時間以上

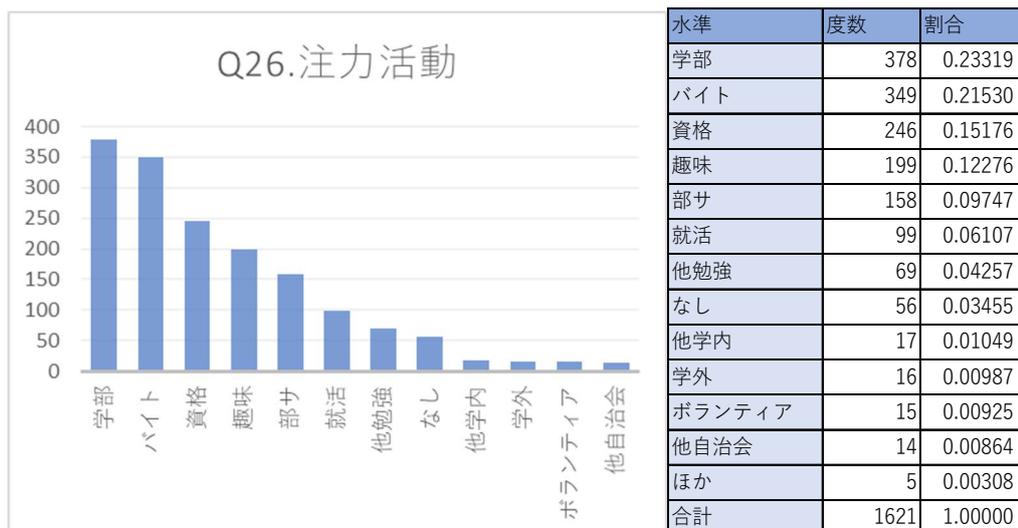


最頻値は3（1時間～1時間30分未満）で、約27%を占める。3と4と5（通学所要時間が1時間以上）の合計の割合が約55%であり、Q23において約64%が「親元で暮らしている」と回答していることから通学時間の長さとの関連が見てとれる。この傾向は過去3年間も確認された。

#### 【取り組んでいること・課外活動】

Q26 現在、特に力を入れて取り組んでいることは何ですか。（主なものを2つまで）

- |                            |          |
|----------------------------|----------|
| ①学部学科の勉強                   | [学部]     |
| ②資格試験の勉強                   | [資格]     |
| ③その他の勉強                    | [他勉強]    |
| ④部活動・サークル活動                | [部サ]     |
| ⑤上記④以外の学生自治会の活動            | [他自治会]   |
| ⑥そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティの活動 | [他学内]    |
| ⑦ボランティア活動                  | [ボランティア] |
| ⑧アルバイト                     | [バイト]    |
| ⑨学外のコミュニティ等の活動             | [学外]     |
| ⑩趣味の活動                     | [趣味]     |
| ⑪就職活動・インターンシップ             | [就活]     |
| ⑫上記以外                      | [ほか]     |
| ⑬とくに何にも力を入れていない            | [なし]     |



全学では、最頻値は「学部」（学部学科の勉強）で、約 23%を占め、次いで「バイト」（アルバイト）が約 22%であり、約半数の割合が勉強とアルバイトに注力していることがわかる。次に学年別の分布を示す。

学年	学部	資格	他勉強	部サ	他自治会	他学内	ボランティア	バイト	学外	趣味	就活	ほか	なし
1	27.6%	15.6%	4.6%	11.9%	0.8%	1.0%	0.8%	21.8%	0.7%	11.4%	0.8%	0.3%	2.8%
2	24.9%	15.9%	2.6%	9.4%	0.9%	1.5%	1.3%	23.8%	1.5%	12.2%	2.8%	0.0%	3.2%
3	17.6%	11.3%	2.7%	6.8%	1.4%	0.5%	1.4%	18.6%	0.9%	9.5%	27.6%	0.5%	1.4%
4	7.6%	16.3%	9.3%	4.7%	0.6%	0.6%	0.0%	18.0%	1.2%	19.8%	11.0%	1.2%	9.9%

学年別には、「学部」（学部学科の勉強）と「部サ」（部活動・サークル活動）の割合が最も高いのは 1 年生である。一方で最も低いのは 4 年生であった。学年の順序では 4 年 < 3 年 < 2 年 < 1 年であり、進級するほど「学部」（学部学科の勉強）と「部サ」（部活動・サークル活動）の割合が減少していることがわかる。なお、「就活」（就職活動・インターンシップ）が最も高いのは 3 年生で、「趣味」（趣味の活動）や「他勉強」（その他の勉強）が最も高いのは 4 年生である。

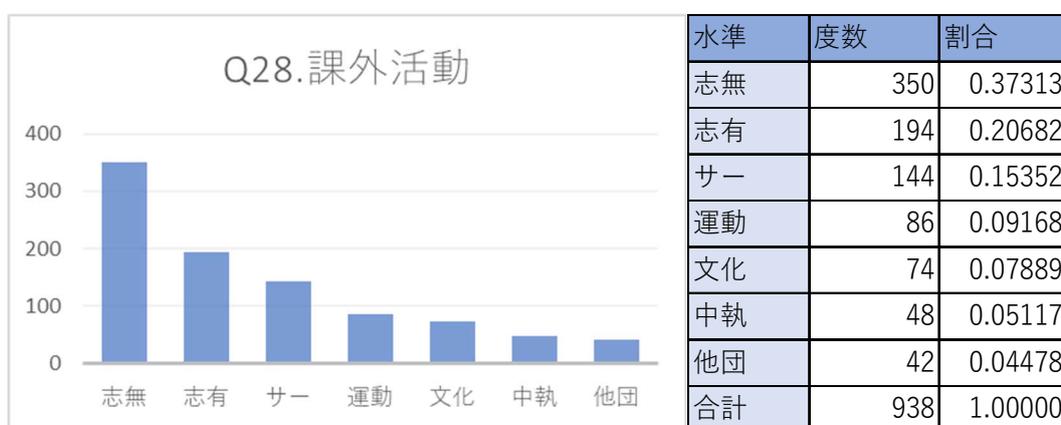
**Q27 Q26 で「⑫上記以外」を選んだ方は、その内容について教えてください。（自由記述）**

Q26 で「⑫上記以外」を選んだ学生は 5 名おり、そのうち 4 名が Q27 に実質的なコメントを書いていた。「車の免許取得」（資格学習、学部学科以外の学習等）、「入社のための準備」（就職・進学のための準備等）、「友人や先輩後輩等の交友関係を広げること」（その他）等のコメントが挙げられた。（コメント一部抜粋）

Q28 現在、学内の課外活動団体等(部活動・サークル活動・委員会活動等)に所属していますか。主に活動しているものを選んでください。引退した方は「所属している」ものとしてお答えください。

※組織：文化団体連合会・体育連合会・大東祭実行委員会・放送協会・全學應援團

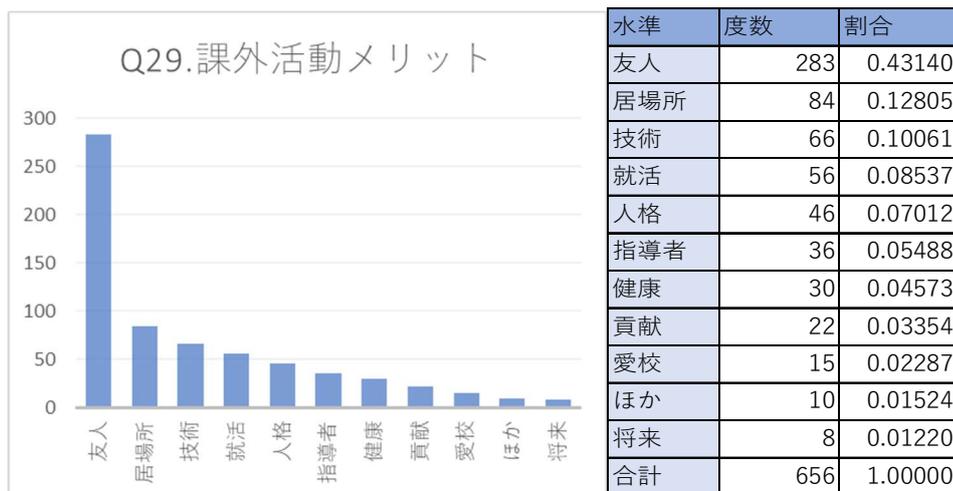
- ①中央執行委員会・組織※・機関に所属している [中執]
- ②運動部に所属している [運動]
- ③文化部に所属している [文化]
- ④サークルに所属している（公認・非公認問わず） [サー]
- ⑤そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティに所属している [他団]
- ⑥所属する意志はあるが、所属していない [志有]
- ⑦所属する意志がなく、所属していない [志無]



最頻値は、「志無」(所属する意志がなく、所属していない)が約37%で、次いで「志有」(所属する意志はあるが、所属していない)が約21%だった。合計すると、約58%の割合で課外活動に参加していないことが見てとれる。前年度と比較して減少しているが、課外活動に参加していないとの回答が依然として高い回答率になっていることには注意したい。

Q29 Q28で①～⑤を選んだ方は、課外活動で良かったと思うことを教えてください。(主なものを2つまで)

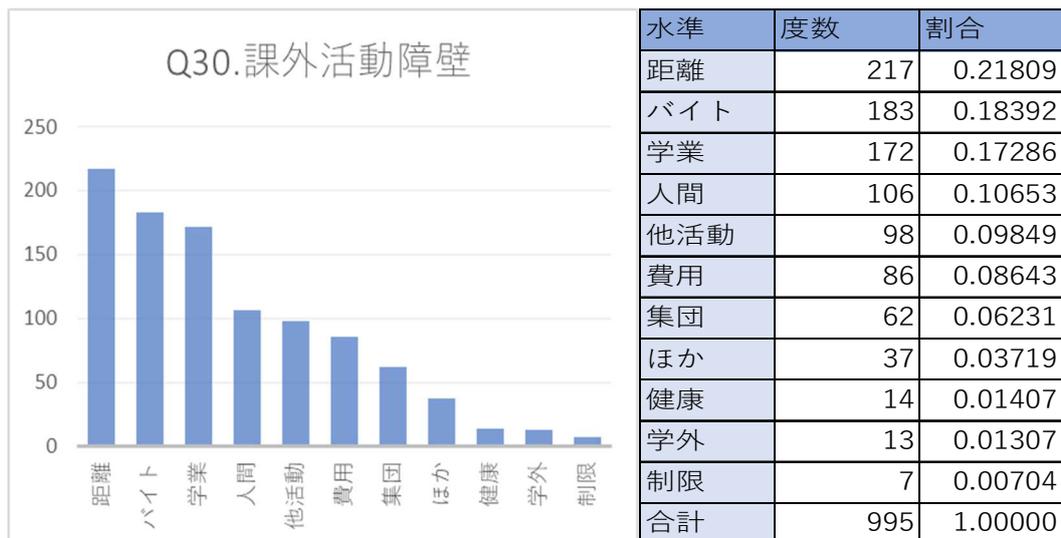
- ①よい指導者に出会えた [指導者]
- ②友人を得た [友人]
- ③居場所・帰属感を得た [居場所]
- ④愛校心を持つことができた [愛校]
- ⑤技術や知識の向上に役立った [技術]
- ⑥社会貢献ができた [貢献]
- ⑦人格形成に役立った [人格]
- ⑧健康増進に役立った [健康]
- ⑨将来の夢が持てた [将来]
- ⑩就職活動に役立った(役立ちそう) [就活]
- ⑪その他 [ほか]



最も頻度が高いのは、昨年度と同様「友人」(友人を得た)である。上の表で「割合」とあるのは、すべての回答を 1.00 としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は 403 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、回答者の約 70%が「友人」(友人を得た)を挙げていたことがわかる。このことから、共通の課外活動を通じた交友関係の構築に利点を感じた学生の割合が高かったことがうかがえる。

Q30 Q28 で⑥～⑦を選んだ方は、課外活動を行うことや、団体への入部や参加を考えるうえで障壁になること、抵抗を感じることは何ですか。(主なものを 2 つまで)

- ①通学距離との関係 [距離]
- ②学業との両立 [学業]
- ③アルバイトとの両立 [バイト]
- ④人間関係 [人間]
- ⑤集団生活に拘束されること [集団]
- ⑥費用がかかる [費用]
- ⑦怪我や健康面 [健康]
- ⑧学外の団体の方がいい [学外]
- ⑨ほかにやりたいことがある [他活動]
- ⑩入部制限がある [制限]
- ⑪その他 [ほか]



最も頻度が高いのは「距離」（通学距離との関係）である。この項目に回答した人数は 599 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、約 36%が「距離」（通学距離との関係）を挙げていることがわかる。次いで、「バイト」（アルバイトとの両立）が約 31%、「学業」（学業との両立）が約 29%と続いている。この傾向は昨年度から引き続き確認でき、自身の学生生活と両立することに障壁を感じて課外活動に参加できない学生が多いことがうかがえる。

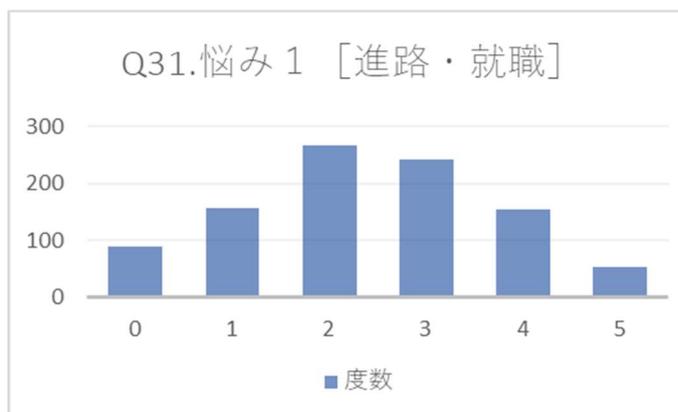
【不安・悩み】

Q31 次のそれぞれの事項に対する不安や悩みはどの程度ですか。0(不安なし)～5(耐え難いほど)の 6 段階で選んでください。

0 (不安なし) 1 (少し) 2 (多少) 3 (かなり) 4 (非常に) 5 (耐え難いほど)

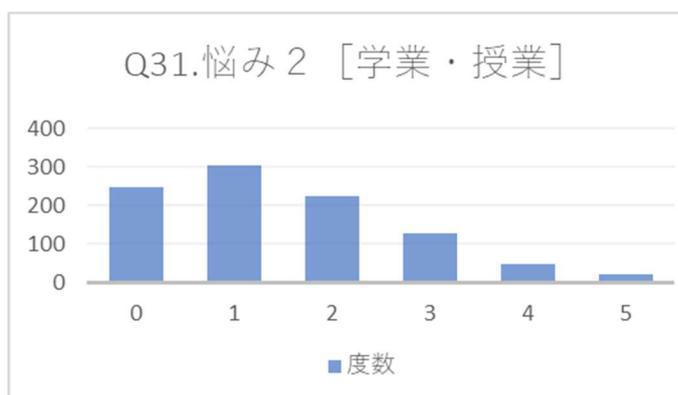
- ①進路・就職
- ②学業・授業
- ③留学
- ④心身の健康
- ⑤アルバイト先での問題
- ⑥経済的問題
- ⑦対人・友人関係
- ⑧課外活動
- ⑨家族関係
- ⑩性の悩み
- ⑪恋愛の悩み
- ⑫性格・能力
- ⑬人生観
- ⑭ハラスメント

<進路・就職>



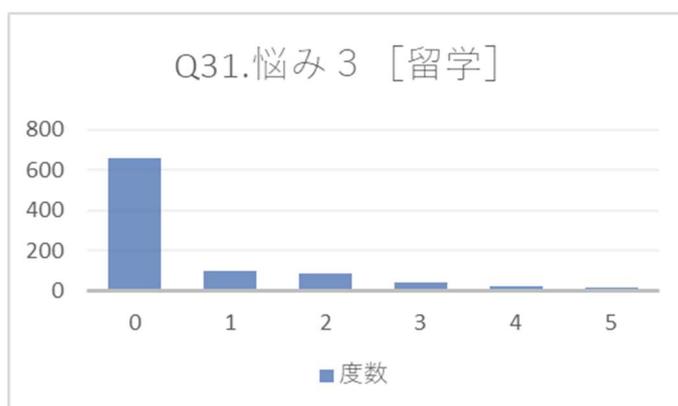
水準	度数	割合
0	89	0.09223
1	158	0.16373
2	267	0.27668
3	242	0.25078
4	155	0.16062
5	54	0.05596
合計	965	1.00000

<学業・授業>



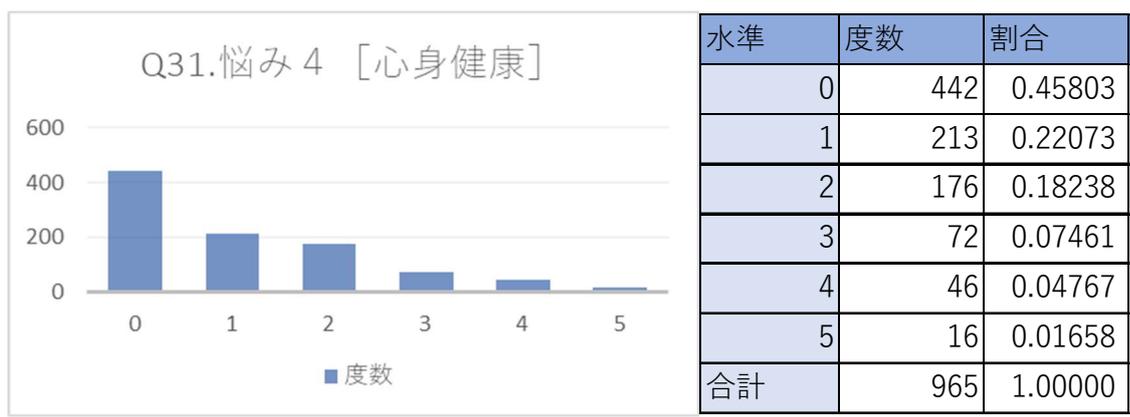
水準	度数	割合
0	246	0.25519
1	304	0.31535
2	222	0.23029
3	126	0.13071
4	47	0.04876
5	19	0.01971
合計	964	1.00000

<留学>

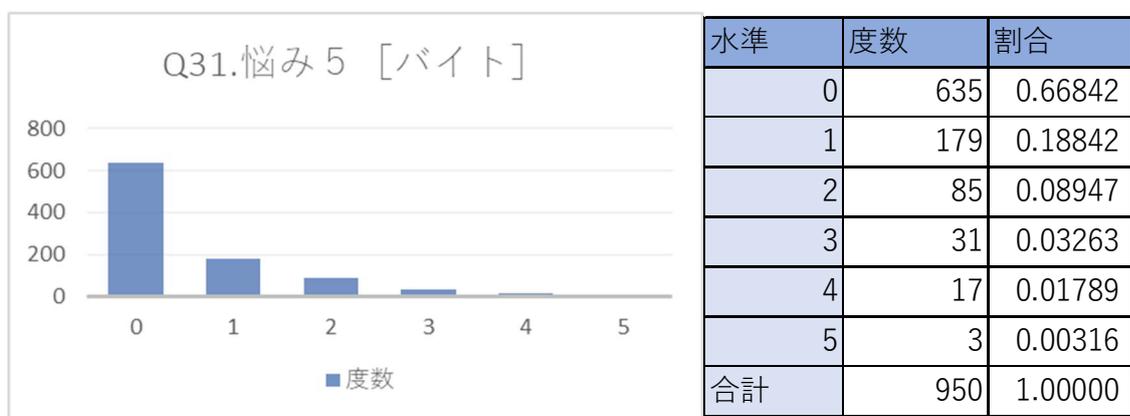


水準	度数	割合
0	661	0.70469
1	102	0.10874
2	89	0.09488
3	47	0.05011
4	23	0.02452
5	16	0.01706
合計	938	1.00000

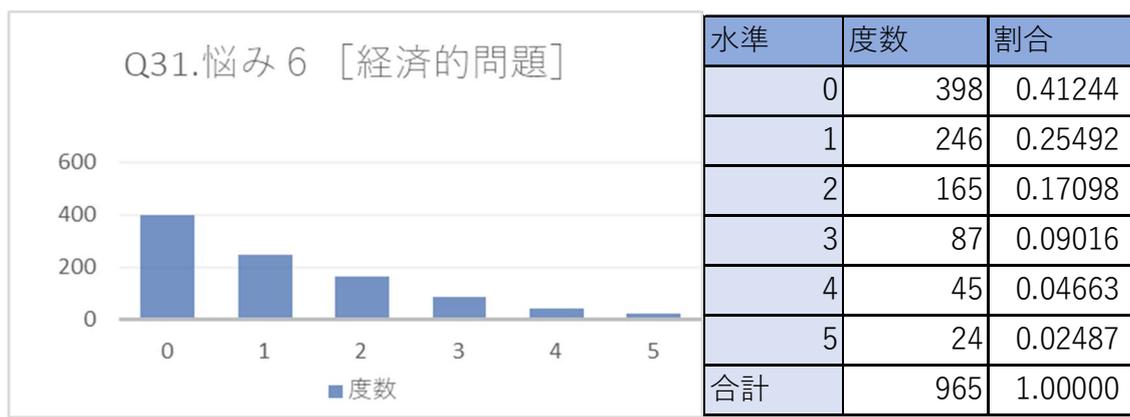
<心身の健康>



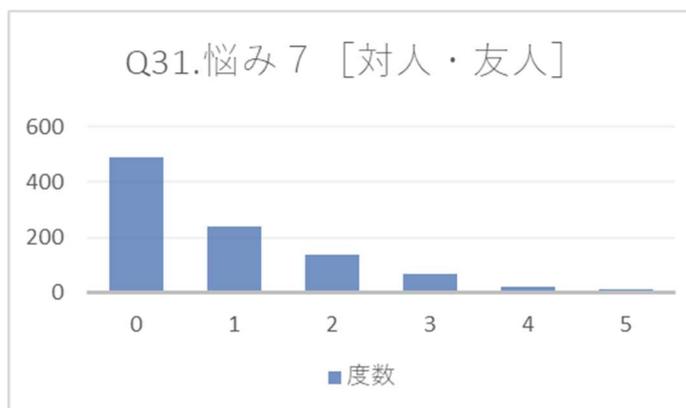
<アルバイト先での問題>



<経済的問題>

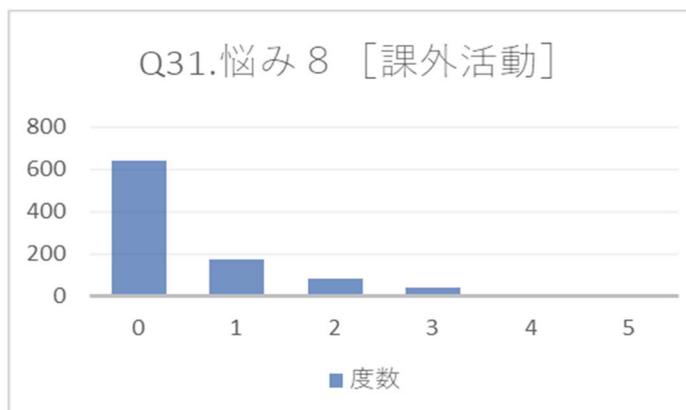


<対人・友人関係>



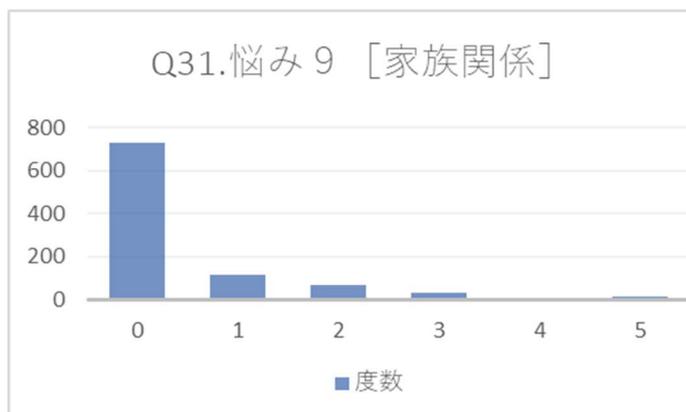
水準	度数	割合
0	490	0.50672
1	239	0.24716
2	136	0.14064
3	67	0.06929
4	22	0.02275
5	13	0.01344
合計	967	1.00000

<課外活動>



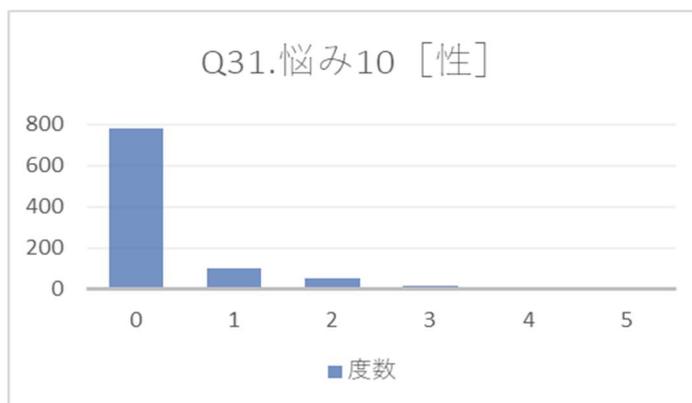
水準	度数	割合
0	640	0.67582
1	173	0.18268
2	80	0.08448
3	39	0.04118
4	10	0.01056
5	5	0.00528
合計	947	1.00000

<家族関係>



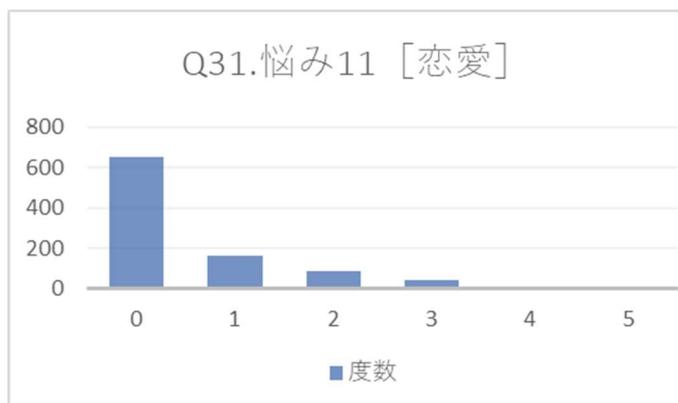
水準	度数	割合
0	727	0.75650
1	116	0.12071
2	65	0.06764
3	31	0.03226
4	10	0.01041
5	12	0.01249
合計	961	1.00000

<性の悩み>



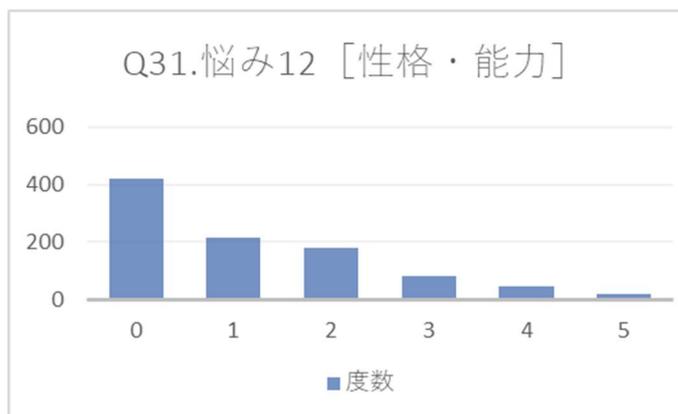
水準	度数	割合
0	778	0.81211
1	100	0.10438
2	53	0.05532
3	19	0.01983
4	3	0.00313
5	5	0.00522
合計	958	1.00000

<恋愛の悩み>



水準	度数	割合
0	654	0.68125
1	160	0.16667
2	86	0.08958
3	38	0.03958
4	11	0.01146
5	11	0.01146
合計	960	1.00000

<性格・能力>



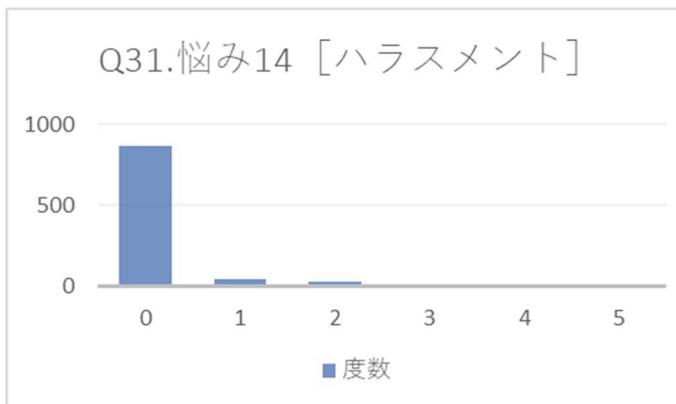
水準	度数	割合
0	422	0.43958
1	216	0.22500
2	180	0.18750
3	80	0.08333
4	44	0.04583
5	18	0.01875
合計	960	1.00000

<人生観>



水準	度数	割合
0	463	0.48179
1	210	0.21852
2	162	0.16857
3	64	0.06660
4	35	0.03642
5	27	0.02810
合計	961	1.00000

<ハラスメント>



水準	度数	割合
0	868	0.91081
1	46	0.04827
2	26	0.02728
3	7	0.00735
4	3	0.00315
5	3	0.00315
合計	953	1.00000

<平均値と標準偏差の一覧>

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	965	2.39	1.33	0.04
悩み2	[学業・授業]	964	1.46	1.24	0.04
悩み3	[留学]	938	0.63	1.17	0.04
悩み4	[心身健康]	965	1.08	1.28	0.04
悩み5	[バイト]	950	0.55	0.95	0.03
悩み6	[経済的問題]	965	1.18	1.32	0.04
悩み7	[対人・友人]	967	0.89	1.15	0.04
悩み8	[課外活動]	947	0.54	0.95	0.03
悩み9	[家族関係]	961	0.46	0.98	0.03
悩み10	[性]	958	0.31	0.77	0.02
悩み11	[恋愛]	960	0.57	1.01	0.03
悩み12	[性格・能力]	960	1.13	1.29	0.04
悩み13	[人生観]	961	1.04	1.30	0.04
悩み14	[ハラスメント]	953	0.15	0.57	0.02

参考：2023 年度

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	784	2.49	1.36	0.05
悩み2	[学業・授業]	782	1.48	1.26	0.05
悩み3	[留学]	761	0.67	1.21	0.04
悩み4	[心身健康]	781	1.11	1.28	0.05
悩み5	[バイト]	775	0.53	0.94	0.03
悩み6	[経済的問題]	777	1.23	1.35	0.05
悩み7	[対人・友人]	777	0.91	1.13	0.04
悩み8	[課外活動]	773	0.55	0.94	0.03
悩み9	[家族関係]	778	0.43	0.89	0.03
悩み10	[性]	781	0.41	0.91	0.03
悩み11	[恋愛]	778	0.63	1.12	0.04
悩み12	[性格・能力]	778	1.22	1.33	0.05
悩み13	[人生観]	779	1.11	1.33	0.05
悩み14	[ハラスメント]	775	0.21	0.71	0.03

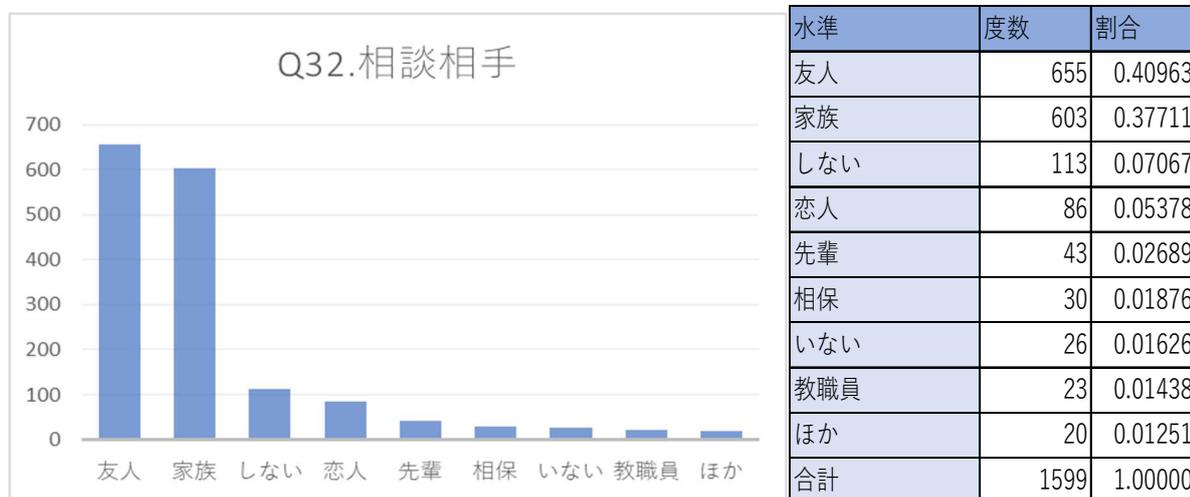
参考：2022 年度

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	960	2.76	1.35	0.04
悩み2	[学業・授業]	959	1.58	1.33	0.04
悩み3	[留学]	933	0.68	1.24	0.04
悩み4	[心身健康]	959	1.13	1.32	0.04
悩み5	[バイト]	942	0.57	1.02	0.03
悩み6	[経済的問題]	957	1.36	1.36	0.04
悩み7	[対人・友人]	958	1.08	1.28	0.04
悩み8	[課外活動]	941	0.59	1.02	0.03
悩み9	[家族関係]	954	0.49	1.02	0.03
悩み10	[性]	951	0.40	0.94	0.03
悩み11	[恋愛]	953	0.64	1.16	0.04
悩み12	[性格・能力]	954	1.36	1.43	0.05
悩み13	[人生観]	955	1.28	1.44	0.05
悩み14	[ハラスメント]	945	0.17	0.63	0.02

昨年度までと同様、「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「心身の健康」そして「人生観」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が存在していることはきちんと認識しなければならない。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてより一層の周知を試みたいと考える。

### Q32 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]
- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保]
- ⑦相談できるひとがない [いない]
- ⑧他人には相談しない [しない]
- ⑨その他 [ほか]



相談相手として「友人」が約 41%、「家族」が約 38%と圧倒的に割合が大きい。一方で「教職員」（大学の教職員）と「相保」（学生相談室・保健室）については約 2%程度に留まっている。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

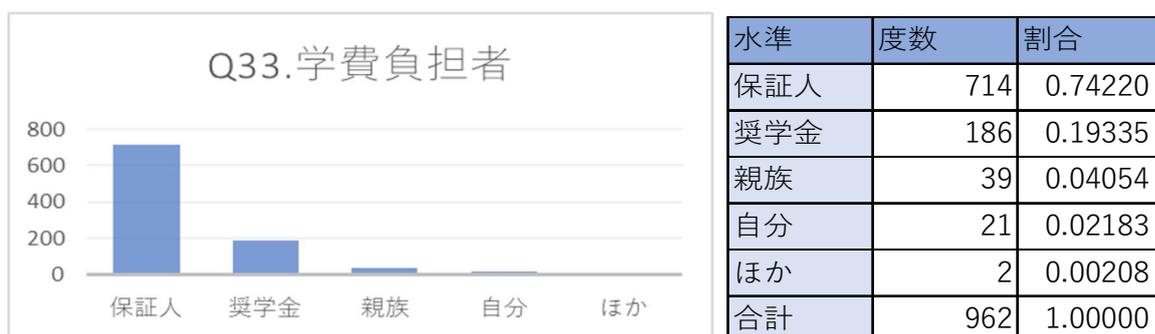
学年	友人	家族	しない	恋人	いない	先輩	教職員	ほか	相保
1	42.8%	38.0%	7.4%	4.2%	1.2%	2.7%	1.1%	1.5%	1.0%
2	40.7%	37.1%	8.7%	4.2%	2.2%	3.3%	0.9%	0.7%	2.2%
3	37.3%	38.2%	5.0%	8.2%	2.3%	1.8%	2.7%	1.8%	2.7%
4	38.9%	37.4%	4.5%	9.1%	1.0%	2.0%	2.5%	1.0%	3.5%

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが指摘できる。

### 【経済状態・アルバイト】

**Q33 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。**

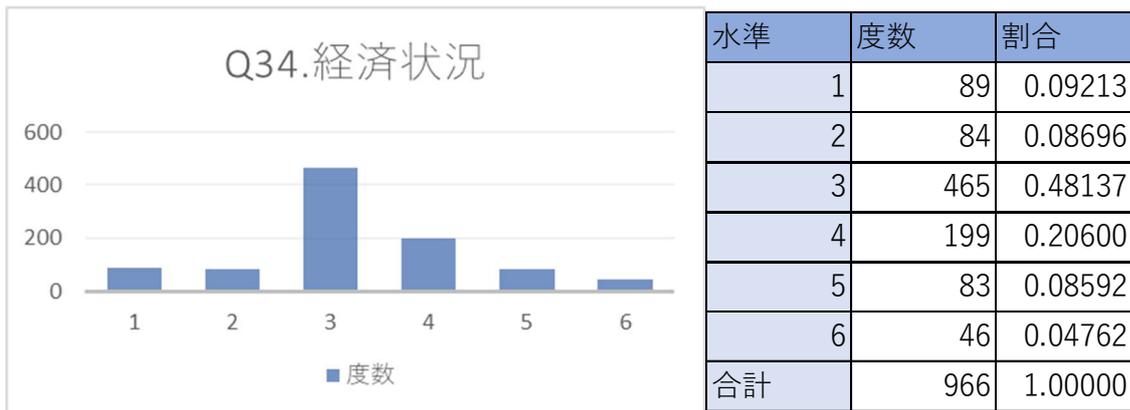
- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]
- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [ほか]



最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約74%であった。次いで「奨学金」が約19%と続き、合計して約94%を占めている。昨年度と比べ「保証人」が3%程度減少したのに対し、「奨学金」が4%程度増加している。一方で昨年度と同様に全体の約2%が「自分」であり、学費を自身で支弁している学生がいることがわかる。

**Q34 現在の家庭の経済状況はいかがですか。**

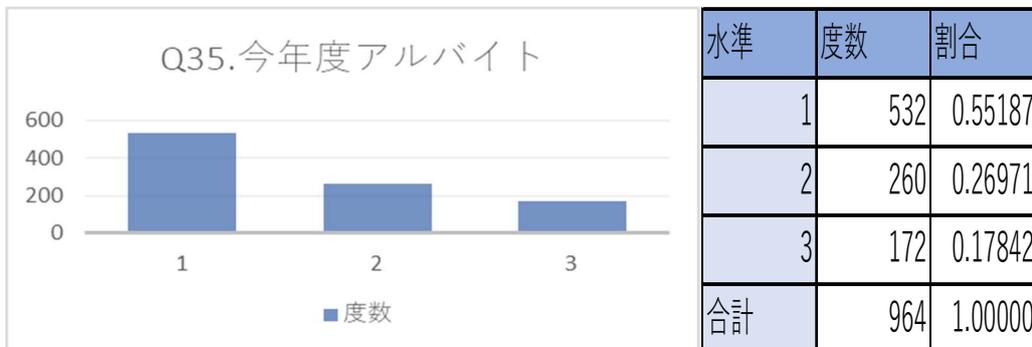
- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明



最頻値は3（普通）で約48%である。また、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約29%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。なお、昨年度は、3（普通）は約50%、4（やや苦しい）と5（苦しい）はあわせて約28%であった。

Q35 今年度のアルバイトについて選んでください。

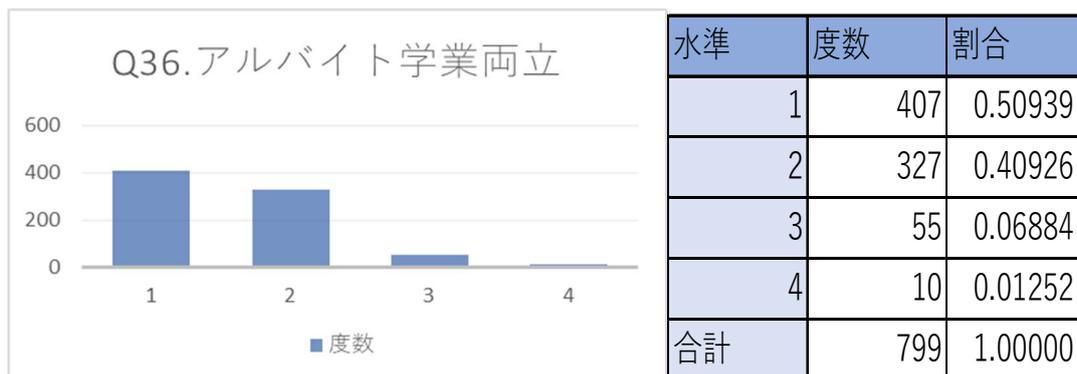
- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない



最頻値は1（常時している／いた）で約55%であった。

Q 36 Q35 で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない

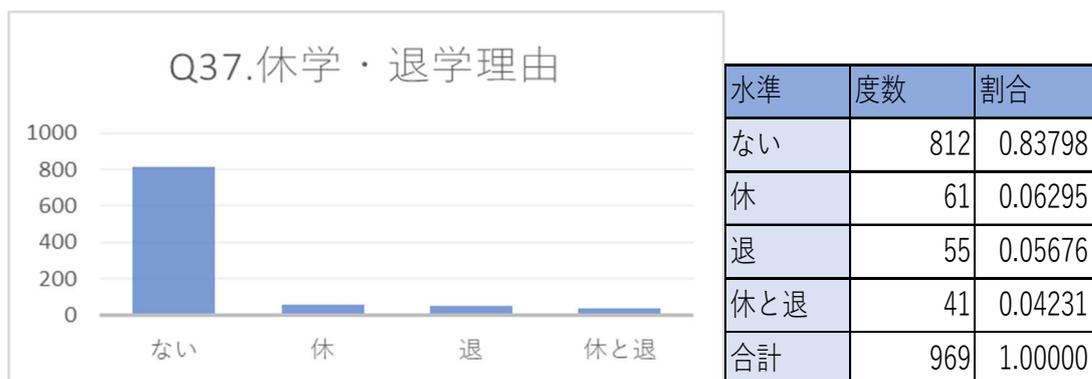


1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約92%の学生はアルバイトと学業の両立ができていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約8%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることがわかる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりが重要だといえよう。

#### 【休学・退学】

##### Q37 休学や退学を考えたことがありますか

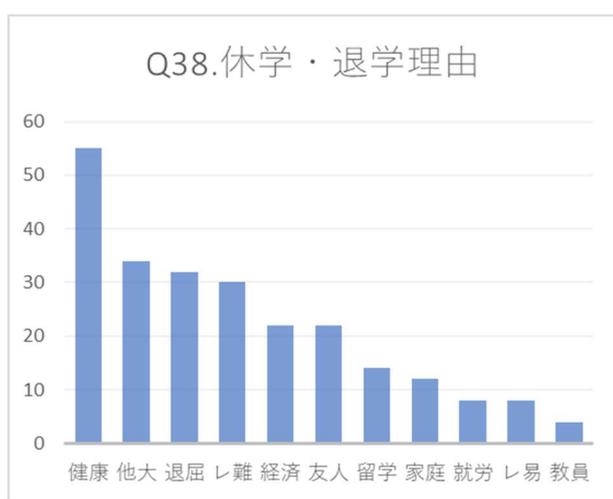
- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]



最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約84%であった。一方で、全体の約16%の学生が、休学や退学を考えたことがあり、昨年度（約13%）よりやや増加している。

Q38 Q37で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを2つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味を持ってない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]
- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就労]



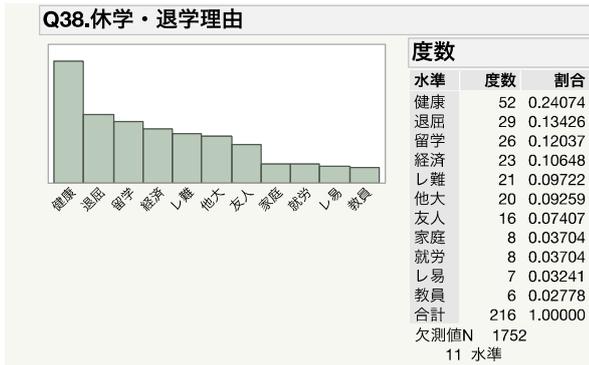
水準	度数	割合
健康	55	0.22822
他大	34	0.14108
退屈	32	0.13278
レ難	30	0.12448
経済	22	0.09129
友人	22	0.09129
留学	14	0.05809
家庭	12	0.04979
就労	8	0.03320
レ易	8	0.03320
教員	4	0.01660
合計	241	1.00000

参考：2023 年度



水準	度数	割合
健康	32	0.19632
退屈	28	0.17178
経済	23	0.14110
留学	16	0.09816
レ難	16	0.09816
他大	16	0.09816
友人	10	0.06135
家庭	8	0.04908
就労	6	0.03681
レ易	4	0.02454
教員	4	0.02454
合計	163	1.00000
11水準		

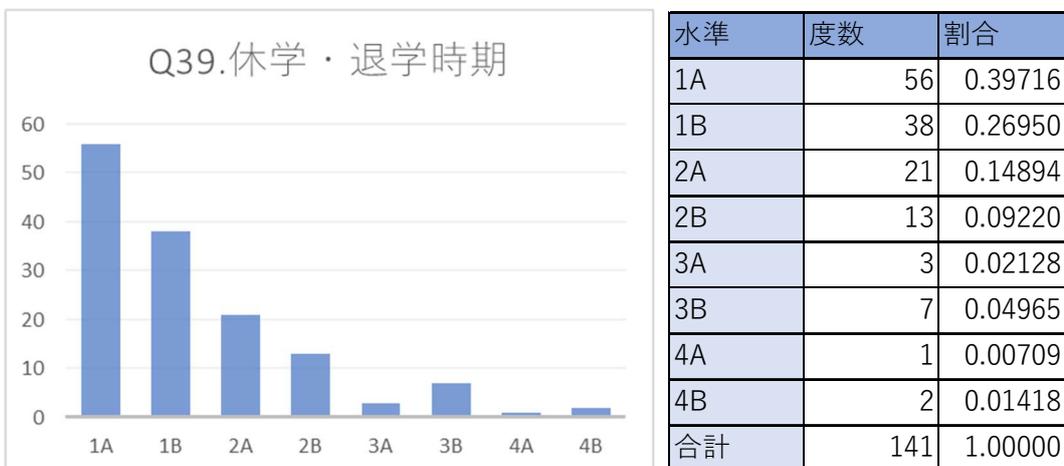
参考：2022 年度



Q37.において、休学や退学を考えたことがあると回答した学生は 157 人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約 35%であった。次いで「他大」（他大学への入学）が 22%と続いており、昨年度まで 2 年連続で 2 位であった「退屈」（授業に興味を持ってない／授業がつまらない等）を抜いていることは特筆すべきことであろう。「他大」の回答数は昨年度より倍増しており、休学退学につながる入学後のミスマッチを防ぐため、入学前の広報活動等に改善の余地があることがうかがえる。

**Q39 Q37 で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。**

- ① 1 年次前期（夏休みを含む） [ 1 A ]
- ② 1 年次後期（春休みを含む） [ 1 B ]
- ③ 2 年次前期（夏休みを含む） [ 2 A ]
- ④ 2 年次後期（春休みを含む） [ 2 B ]
- ⑤ 3 年次前期（夏休みを含む） [ 3 A ]
- ⑥ 3 年次後期（春休みを含む） [ 3 B ]
- ⑦ 4 年次前期（夏休みを含む） [ 4 A ]
- ⑧ 4 年次後期（春休みを含む） [ 4 B ]



1 年次の回答の割合が突出して高いことは昨年度も確認できた傾向であり、注意したい。

## 10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q40（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q40 本学への意見等、自由に書いてください。

「特になし」に類するものが11件。それを除いて実質的なコメントを書いたものが207件あった。それらを1件毎に精査し、言及している内容で分類し帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

<全体的な分布>

●  コードシステム	263
> ●  施設/設備等について	124
> ●  授業について	31
> ●  課外活動について	18
> ●  大学全体の印象について	16
> ●  学生へのサポートについて	16
●  大学に対する感謝等	15
●  特になし	11
> ●  立地について	9
●  特定の部局・教職員に係る不満の表明	7
●  学内システムへの不満・要望	5
●  自身の決意・自身に対する戒め	3
> ●  学費・経済面について	3
●  学納金の用途についての不満	2
●  留学について	1
●  入学式・卒業式について	1
> ●  アンケート調査について	1

昨年度に引き続き、全該当件数 263 件のなかで施設／設備についての意見が最も多かった。次いで、授業について、課外活動についての声が多かった。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

## <施設／設備について>

> ● ④ スクールバスに関する不満・要望	28
> ● ④ 飲食物施設に関する不満・要望	22
● ④ Wi-Fi環境に関する不満・要望	19
● ④喫煙に関する不満・要望	15
> ● ④ 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	15
● ④ 空調設備・気温調節に関する不満・要望	7
● ④ トイレの設備・備品に関する不満・要望	5
● ④ 図書館について	4
● ④ 体育施設に関する不満・要望	3
● ④ 施設の老朽化について	2
● ④ 施設がよい・満足だ	1
● ④ 臭気・騒音・照度	1
● ④ 予鈴チャイムがほしい	1
● ④ 害虫駆除について	1

スクールバスに関する不満・要望が最も多く、特に、運行本数や混雑、運転手やスタッフの対応に関する声が多かった。また、今年度は、久喜・鴻巣便の運行本数を増やしてほしいとの要望も多く見られた。

■ ピーク時のバスの本数をもう少し増やしてくれるとありがたいです。

■ スクールバスの本数が足りていないので、生徒数が多い分スクールバスの本数を増やしてほしい。  
(スクールバスの本数が少なくバスを待つ時間も計算して、かなり早く家を出なければならない)

■ 東松山校舎のスクールバス運転手と警備員の喧嘩が多いです。運転手が怒鳴るなどしてバスの内の空気が悪く、居心地が悪いです。その後の運転も荒く、立っているのも大変なくらいです。改善していただけたら幸いです。

■ 高坂駅の改札を出てすぐの階段を降りる途中、警備員の方から側にある歩道橋を渡らず、下の道からバス停に向かうよう指示されています。しかし、大半の学生がその指示に従わず、歩道橋からバス停に向かっています。歩道橋を利用する方が早くバス停に到着できるため、指示に従った学生が損をしている状況です。学生に下の道を通るよう徹底させることは難しいかもしれませんが、例えば、下の道を利用した学生を優先的にバスの待機列に並ばせるなどの措置を講じることで、指示に従う学生が増えると思います。

■ 久喜便の本数を増やして欲しい 3限から登校の日も2限からのバスが最終のためとても不便です。

■ スクールバス(鴻巣便)の本数をもう少しだけ増やして欲しいです。(特に二限が終わったあと、ある程度すぐに乗ることができる時間のバスを追加するなどです)  
(原文ママ)

次いで多かったのは、飲食物施設に関する意見である。値段、メニューの内容、施設の混雑に関するコメントが主に寄せられた。また、新しい飲食物施設が欲しいとのコメントも多くみられた。

■食堂やキッチンカーなど全て高すぎる。500円で食べれるようにしてほしい。

■食堂の改善。もう少し安くしてほしい。松屋行ったほうがマシな値段はおかしい。朝ごはんを板橋にもほしいです。

■板橋キャンパスの学食のメニューがすぐになくなってしまふのを改善してほしい

■物価高の中十分に頑張っているとは思いますが、食堂のメニューをもっと頑張してほしいと思います。

■学食に関していえば、東松山校舎はまだ良いものの、板橋校舎は全く入れませんでした。スペース的に厳しいとは思いますが、時間の延長などは少し欲しいです。3時間目など落ちついて食べたい層もいると思うので

■大学の中にカフェとかマックとか作ってほしい

■東松山キャンパスは食堂やコンビニだけでは、足りないので新しい飲食店、カフェを入れて欲しいです。

(原文ママ)

続いて多く見られたのは、Wi-Fi環境が悪いという意見だった。

■もっと強い Wi-Fi を設置してほしい。授業の開始、終了時刻に出席をバインドノートやレスポンドで行いたいときに時間がかかることが非常に多い。

■2年生は授業にもっと真剣に取り組みたいし、資格の勉強も頑張りたい！だから、なるべく早く教室や図書館のWiFi環境を良くしてください。本当にお願ひいたします。

■wi-fi 環境について「解決しました」といった解答をなさっていることがありますが、1台つながればいいというわけではなく、クラス単位で利用した際、使い物にならなければ解決していないと考えます。複数台での検証をおねがひいたします。

(原文ママ)

続いて、喫煙に関する不満や要望が多かった。具体的な内容は以下の通りである。

- 学校がタバコ臭い。教室にタバコの匂いが外から入ってきたり、タバコを吸った学生の匂いがひどい。匂いで体調が悪くなり、授業に集中して受けることができないことがある。また、東松山の通学バスを利用しているが、バス停から降りて駅までの道でタバコを歩きながら吸う学生やバス停近くでたむろしてタバコを吸っている学生がいる。その方々のものかは不明だが朝にタバコの吸殻が多く落ちていることが確認できる。もう少しタバコに関して規制してほしい。長文となってしまい申し訳ありません。
- 東松山キャンパスの1号館とオーバブリッジの間にある喫煙所を移動、もしくは廃除して欲しいです。オーバブリッジを使う際、けむく、臭いため、困っています。
- 喫煙所が多い気がします。喫煙者の方にとっては、「少ないくらいだ」と言われそうですが、喘息であり非喫煙者の私からすれば、多いと感じます。進明堂の隣のスペースにある喫煙所ですが、食事をする方に比較的近いところにあるのが気になりました。
- 喫煙所を増やしてほしい。休み時間に吸いに行くのが遠くて間に合わない。

(原文ママ)

続いて、施設／設備を新たに使用したい・充実させてほしいという要望が多かった。下位コードの分布は以下の通りである。

▼ ●☑ 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	0
●☑ 給水機・給湯器を設置してほしい	5
●☑ フリースペース・自習室を充実させてほしい	3
●☑ 電子レンジの数を増やしてほしい	2
●☑ 雨や日差しを避ける屋根を設置してほしい	2
●☑ 大学の出入りについて	1
●☑ 自動販売機を増やしてほしい	1
●☑ PCの充電ができる場所がほしい	1

## <授業について>

● 授業について	0
● カリキュラム・時間割・単位の設定に関する不満・要望	14
● 授業内容への不満・要望	9
● 教員に対する不満・要望	3
● 授業に満足している	2
● 試験に関する要望	1
● 評価への不満・要望	1
● 学生の受講態度が悪い	1

授業については、カリキュラム・時間割・単位の認定に関する不満・要望が最も多かった。具体的なコメントを以下に挙げる。

■板橋キャンパスで開講している全学共通科目が少なすぎるので、なんとかしてほしいです。

■偏差値が同じくらいの大学に通っている友達の学校はある程度 TOEIC の点数を取らないと単位がもらえない授業、簿記などの資格を取らないと単位が出ない授業などが必修や選択必修などである。他の学部はわからないが大東文化大学経済学部はこういった授業が少ない気がする。私も含め大東文化大学の同級生をみても主体的に勉学に取り組む人は少なく就職活動も遅れている人が多いためこういった授業が必修などであると少し就職活動に有利に働いたり、嫌でも勉強しないといけなくなるためこういう授業があって欲しかった。また、コロナの時期に入学したためかサークルが少なく感じたため、グループワークの授業があると嬉しかった。

■中国語学科だが、留学生との交流がゼロ、唯一の交流はネイティブの先生1人のみ。少し残念。

■出欠確認を全くしていない授業がある。そのような授業では、履修しているにも関わらず授業に一回も出席せず、友人等から授業ノートを見せてもらい、単位を取得しているような学生がみられる。特に卒業単位にかかわるものや、資格取得に必要な授業等では最低限でも出欠確認を行うようにしてほしい。

■ただ座って話を聞く、ただ前に出て発表させるという授業よりも、生徒が自ら興味を持ち、生徒自身の思考力や想像力を働かせられるような、魅力的な授業を期待しています。

■学生によるオープンチャットで BIND.note のコードのやり取りがほぼ毎日行われていた。毎日来ている方が馬鹿みたいなので改善してほしい。

■政治学科の開講科目である「政治学インターンシップ」に今年度参加させていただきました。そこでは、普段絶対に入ることのできないところに入れたり、他学部・他学科の人達といろいろと交流をす

ることができて本当に良かったです。人生経験の1つとなりました。今後も大東文化大学の1つの良き伝統として受け継いでいていただきたいと思います。

(原文ママ)

#### <課外活動について>

● 課外活動について	0
● イベントについて	11
● 課外活動へのサポートに関する不満・要望	6
● 板橋校舎でも活動がしたい	1

課外活動については、イベントについての声が多かった。また、他学部とも交流できるイベントが欲しいというコメントも多くみられた。

■ 色々な人と関われるイベントがほしい

■ 他の学部の人との交流の機会を増やすと更に多角的な視点を持てるのではないかと思う。

■ 4年間過ごしてきましたが、基本的に穏やかで過ごしやすいイメージでした。ただ、静かすぎて学園祭などのイベントや行事の告知が弱いと感じます。気がついたらイベントのチケットは販売していました。少し悲しかったので、例えばLINEなどの触れやすく見つけやすいものの導入は検討してもいいのではないのでしょうか。就活の時にキャリアセンターのLINEは見逃しにくさを感じました。また、学園祭も、もう少し豊かさが欲しいです。大変にはなるとは思います。出店も見せ物も控えめに感じます

■ 六月祭の存在があまり知られておらず、いまいち盛り上がりがない。授業も通常通りあるため六月祭に出る側としては少し寂しい。

■ サークル活動が盛り上がるよう、サポートや設立条件の緩和、新歓期以降の勧誘の許可の緩和がほしい。ゆえに他大学に比べ文化系のサークル活動が盛り上がりせず、低クオリティにとどまっている気がします。

■ 部活とかで遠征とかに行けるバスの運転手を雇って欲しい

■ 日曜日にバスを出して欲しい。

(原文ママ)

### <大学全体の印象について>

●◎ 大学全体の印象について	0
●◎ 大学に満足だ・入学してよかった	14
●◎ 学力が高い学生が入学する大学であってほしい	1
●◎ 本学は学歴に関する社会的評価が低い	1

大学全体に関わるコメントとしては、昨年度に引き続き、「入学して良かった」「充実していた」といった肯定的なコメントが多く見られた。

■最初は不安でしたが、今では大東文化大学に入学できて本当に良かったと思っています。就活が不安ですが、分からないことは聞いて後悔のない選択をしようと思います。これからもよろしくお願いします。

■大東文化大学のことは入学前よりも好きになりました。良い先生や友人、環境にも出逢えました。良いところはそのままに、より後輩たちが過ごしやすい環境になることを祈っております。

■今年で卒業する4年生です。良いことも嫌なこともありましたが、どちらの経験も自分の人生にとってプラスだったと思います。大きな決断もそのための努力も存分にしました。人に頼ることだったり、頼られることだったり、学びは多かった4年間です。素敵な学生生活をありがとうございました。社会人になっても、ここで得た学びを活用して一歩ずつ進歩したいと思います。

■大東文化大学で4年間過ごし、思い通りにいかないこともあったけれども就職活動やアルバイトなどに打ち込み進路を実現することができた。コロナなどで活動が制限されるものの高校時代の劣悪な環境と比較して、充実している施設でゼミ活動などもできて私はこの大学を卒業することに誇りを持っています。

(原文ママ)

### <学生へのサポートについて>

●◎ 学生へのサポートについて	0
> ●◎ 学生へのサポートに関する不満・要望	13
●◎ 学内BGM	1
●◎ メンタルケアについて	1
●◎ サポート・対応に満足している	1

サポート・対応に満足しているという声があった一方、不満・要望も見られた。具体的な記述を以下に示す。

■大東文化大学は、生徒と向き合ってくれる方々がたくさんいますし、勉強する環境も整っているの、自分次第ではあるが、格段に成長させてくれる大学だと思っています。

■ある教員に進路について相談をしたら、親身になっていろいろと相談にのっていただき本当に嬉しかったです。大東文化大学の良さの1つとして、学生と教員との距離が近いことで気軽に話しができることだと思います。

■キャリアセンターにすごい助けてもらっています。ありがとうございます。

■大学指定の履歴書が大学内でしか買えないのは不便。先日、大学に履歴書を買に行ったところたまにその日だけ書店がやっておらず買うことができなかった。そういったこともあるので、郵送等で買えるようにしてほしい。

■心に傷を負っている人に対して、定期的なメンタルケアを行ってあげてほしいです。

(原文ママ)

<大学に対する感謝等>

大学やスタッフに対する感謝等のコメントについて具体的な内容をいくつか引用する。

■この大学は学生を切り捨てる感じがなく、安心しています。授業で学生への対応を見てもそうですし、私自身、留学による大東での履修に不安や心配が多かったのですが国際交流センター、先生方や学部事務室、教職センターの方に、学生生活に不利がないよう色々調整していただきとても感謝の気持ちでいっぱいです。

■学業に専念できる環境が整っており、その環境に感謝しながら学生生活ができている。

■第1例目の視覚障がい学生として入学し、わからないこともたくさんありましたが、周りの方々がサポートしてくださったおかげで、充実した大学生活を過ごすことができました。ありがとうございました。

■多くのものを得ることができ、楽しい大学生活を送ることができました。お世話になりました。社会に出て、また困ったら戻ってきます。

(原文ママ)

<立地について>

立地に関する意見も寄せられた。下位コードは以下の通りである。

●立地について	0
●新キャンパスをつくってほしい	3
●自宅から遠い	3
●4年間同じキャンパスに通学したい	2
●東松山キャンパスより板橋キャンパスのほうが望ましい	1

<特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。

<学内システムについて>

BIND.note、DB manaba、DB ポータル等の学内システムに関する不満・要望があった。

■出席システムの強化。バインドノートにGPS機能の搭載。

■大東文化大学のアプリ等を通して、空いている教室の状況が分かるサイトのようなものが欲しいです。

■新しく赴任なさった先生やある程度お年を召した先生がmanabaが使えなかったり、インターネットの接続等で躓き、無駄な時間を費やすことが多いです。先生に対する研修やガイドを用意する等対策をしていただきたいです

■dbポータル上でシラバスを検索する際に、板橋校舎か東松山校舎どちらの授業なのかを選択して選択範囲を狭められる機能があるとありがたいです。

(原文ママ)

<自身の決意・自身に対する戒め>

自分自身の決意表明としては、昨年に引き続き気を引き締めてさらに努力してゆきたい、等の前向きなものだった。

<学費・経済面について>

学費・経済面については、「奨学金制度に満足している」という意見と「学費が高い」という意見があった。その他、昨年度に引き続き徴収した学費を適切に使用してほしいという声もあった。

■学内の行事ごとの飾りなど、全く不必要とは言わないにしても、そのようなことに学生の学費をかけるならば、処分を考えている書籍などを外部などから豊かに学問に必要なものを補充するなど図書館の設備を強化してほしい。スポーツだけでなく、学術的に頑張っている学生をよく支援していかなければ、特に新設された学科は持続して発展できないと思う。

(原文ママ)

以上